一般社団法人 京都知恵産業創造の森　令和5年度 事業報告書

1 概 要

厳しいコロナ禍を乗り越え、経済に活気が戻りつつある令和5年度においては、（一社）京都知恵産業創造の森が設立5周年の節目を迎え、令和 5 年 11 月の記念式典を始め、活動を活発化させた一年となった。

記念式典では、塚本理事長から、「様々な関係機関の皆さんの支援、協力のもと、5年を迎えられたことに心から感謝申し上げる。知恵森の事業の中には、なかなか成果が見えにくいものもあるが、これまでの5年間の歩みを礎とし、設立当初からのクロスの発想で、これまで以上に関係機関との連携を強化し、事業を推進してまいりたい。」との挨拶があり、これまで知恵森と共に明日の京都経済を担う産業人材を育成するためのさまざまな事業を積極的に実施してきた、行政、大学、企業、支援機関が、今後も新たな価値の創造を図っていくために交流を深めた。

産業人材の育成支援については、京都商工会議所や京都信用保証協会、地元金融機関等の様々な支援機関と連携し、各団体が関係する多様なステークホルダーに対して、それぞれのニーズに合わせたスキルアップのためのセミナーや個別支援、交流事業に導くとともに、各フェーズに合わせたサポート事業を効果的に実施した。

交流と協働による新たな価値創造の推進については、京都経済センターの入居団体をはじめとする京都企業の育成を担う様々な団体や、京都経済センターを利用する多様な人々が、ＫＯＩＮに集まり交流する多彩な館内交流事業を企画し、新たなコミュニティの形成に寄与した。各支援機関とスタートアップ等を結びつけるハブとしての機能を強化し、京都経済センターを核とした新たなネットワークの創出、起業や事業展開に向け一貫した支援を行った。

スマート社会の推進については、京都スマートプロダクト認定製品・サービスの情報発信や販路開拓支援を一層強化したほか、スマート社会実装化促進事業等を通じて、新たなサービスや技術開発等のイノベーション構築に向けた取組への支援を引続き実施した。また、関係支援機関との情報共有や連携を密に行うとともに、アドバイザー派遣により、中小ものづくり企業の DX 化促進に向けて密着した伴走支援を行った。

産学公連携の推進については、産学連携による研究開発への支援や、大学や学生が実施する社会課題解決や地域課題解決に向けた取組への支援等を実施するとともに、企業と大学との橋渡し役としてマッチングやサポートを行い、共同研究契約の締結や新商品開発につなげた。また、産学公連携プラットフォーム会議での情報交換、情報発信を行うとともに、産学連携担当者を対象とした勉強会や成果発表会を開催するなど、産学公連携の強化に努めた。

スタートアップの推進については、創業前後のスタートアップに向けたセミナーや課題対応への支援だけでなく、グローバルな展開を目指すマッチングイベントを開催するとともに、高校生等を対象とするアントレプレナーシップに関する取組等により、スタートアップ創出環境の整備に取り組んだ。また、京都スタートアップ・エコシステム推進協議会の運営や京阪神スタートアップの連携強化を行うとともに、京都の強みであるディープテック領域のスタートアップの実証・販路拡大のための他団体との共同イベントの実施など、スタートアップの成長ステージに即したエコシステムの充実、ベンチャーキャピタルとの連携強化による資金調達支援等の推進に取り組んだ。

2 会議等

⑴ 社員総会・理事会

令和5年度は、社員総会を4回（決議の省略の方法によるものを含む。）、理事会を5回（同）開催し、令和4年度の事業報告や令和6年度の事業計画及び収支予算等を審議するとともに、令和5年度の業務執行理事の業務報告等についても確認した。

日 程	会 議	議 題
決議があったとみなされた日 令和5年4月5日	（決議の省略の方法による） 理事会	第１号議案 臨時社員総会の決議の省略の決定の件
決議があったとみなされた日 令和5年4月10日	（決議の省略の方法による） 社員総会	第１号議案 理事1名選任の件
令和5年6月22日	第14回理事会	第１号議案 令和4年度事業報告について 第２号議案 令和4年度決算について 第３号議案 令和5年度補正予算について 第４号議案 定時社員総会の審議事項の追加について 第５号議案 臨時社員総会の招集について 報告事項 理事長及び専務理事（業務執行理事）に係る業務報告について
令和5年6月22日	定時社員総会	報告事項 令和4年度事業報告について 第１号議案 令和4年度決算関係書類の承認について 第２号議案 理事の選任について
決議があったとみなされた日 令和6年3月25日	（決議の省略の方法による） 理事会	第１号議案 臨時社員総会の決議の省略の決定の件
決議があったとみなされた日 令和6年3月25日	（決議の省略の方法による） 社員総会	第１号議案 理事１名選任の件
決議があったとみなされた日 令和6年3月25日	（決議の省略の方法による） 理事会	第１号議案 副理事長選任の件
令和6年3月25日	臨時社員総会	第１号議案 令和6年度の会費の決定について

令和6年3月25日	第15回理事会	第１号議案 　令和5年度補正予算（第2次）について 第2号議案 　令和6年度事業計画及び収支予算について 第3号議案 　顧問の選任について 第4号議案 　定時社員総会の招集について 報告事項 　理事長及び専務理事（業務執行理事）に係る業務報告について

⑵ 事業推進協議会

本法人の取組に関する意見交換、オール京都のビジョン共有及び連携協議の場として、経済団体や産業支援機関等で構成する事業推進協議会を開催。

日　程	出席団体	議　題
令和6年2月1日	京都府、京都市、京都商工会議所、 京都工業会、京都信用保証協会	協議事項 1　令和6年度事業計画の概要（案）について

⑶ 広報誌発刊

本法人の取組や実績に関する情報を広く発信することにより、企業、大学、産業支援機関、行政、起業家及び学生等との良好な関係を維持・強化するとともに、様々な交流と協働を促進することを目的に、広報誌（季刊）を継続発刊。また、法人設立 5 周年記念フォーラムや塚本理事長、齋藤副理事長、片岡副理事長の鼎談の模様をまとめた特別号も発刊。

■季刊

発行日	掲載記事	誌面（参考）
令和5年5月31日	・スマート社会実装化促進事業補助金採択企業紹介 ・KOIN ビジネス実践ラボ採択の学生起業家紹介 ・ビジネス実践ラボサポータ座談会 ・AR/VR、メタバース、web3 セミナー・展示・体験会のレポート	
令和5年8月31日	・中小ものづくり DX 推進アドバイザー派遣事業者の取組紹介 ・THE LEAN LAUNCH PAD 実践講座の参加者・メンターインタビュー ・産学連携取組事例紹介 ・KOIN でのイベント実施報告	
令和6年3月15日	・スマート社会実装化補助金採択事業者紹介 ・スマートプロダクト認定事業者紹介 ・スタートアップピッチイベント実施報告 ・KOIN でのイベント実施報告	

■特別号

発行日	掲載記事	誌面（参考）
令和6年1月16日	・法人設立5周年記念フォーラムでのトークセッション ・塚本理事長、齋藤副理事長、片岡副理事長の鼎談	

3 産業人材の育成支援に関する事業

⑴ 産業人材育成に係る企画、運営

産業人材の育成に向けて、多様な組織・団体等と連携し、様々なテーマでイベントやセミナーを実施した。

金融機関においては、京都中央信用金庫と連携し、地元中小企業の販路開拓を支援する「集客スキルアップ講座」を新たに開催したほか、京都信用保証協会と連携し、中小企業の後継者に対して時代に合わせた経営の多角化等を支援する「京都アトツギゼミ」、「アトツギ掛け算プログラム@KOIN」等を実施した。

また産業支援機関等においては、京都商工会議所青年部と連携し、「起業家の舞台裏 ～挫折からの成長ストーリー～」を新たに実施した。

詳細は以下(2)の通り。

⑵ 多様な主体との連携による効果的な人材育成の推進

■高校生ビジネスプラン・グランプリ 京滋地区発表会(日本政策金融公庫京都支店共催)

<table>
<tr><td>内 容</td><td>日本政策金融公庫の「令和５年度高校生ビジネスプラン・グランプリ」において、京都・滋賀の高校からエントリーし入賞した6校に発表の機会を設け、相互の交流を図った。</td></tr>
<tr><td>出場校・
ビジネスプラン</td><td>
<table>
<tr><th>学校名</th><th>プラン名</th></tr>
<tr><td>洛陽総合高等学校</td><td>しあわせのみどりとさかな～
おさかな畑で福祉施設に緑と和みを～</td></tr>
<tr><td>滋賀県立彦根東高等学校</td><td>彦根麦酒プロジェクト</td></tr>
<tr><td>京都府立嵯峨野高等学校</td><td>コーヒーかすで香ばしい燻製を</td></tr>
<tr><td>京都先端科学大学
付属高等学校</td><td>農家にも環境にもやさしいマルチ商材</td></tr>
<tr><td>京都府立大江高等学校</td><td>地域公民館を利用した育児プランで地域創生
～子供は地域のかすがい～</td></tr>
<tr><td>立命館宇治高等学校</td><td>風呂敷を生まれ変わらせよ！
実演販売劇団 REBORN</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>プログラム</td><td>1. 表彰式
2・基調講演
講師：作野 充 氏
（株式会社 FoodFul 代表取締役 COO）

</td></tr>
</table>

	3. ビジネスプラン発表 4. ネットワーキング交流会
開催日	2月3日(日)16:00～18:30
共　催	日本政策金融公庫
参加者	30名

■集客スキルアップ講座 2023（京都中央信用金庫共催）

内 容	SNS マーケティングやブランディング等の専門家から自社商品の PR と売上向上にむけた手法を学ぶプログラムを、小規模店舗や食品関連事業者を対象に開催。参加者は9月に大阪で開催されたフードストアソリューションズフェア 2023 への出展を通じて学んだスキルを実践し、報告会で成果を共有した。
講 師	橘 明日香 氏（モバイルエール 代表） 輪嶋 啓匡 氏（株式会社Kサポート 取締役 教育研修事業部長）
テーマ	第 1 回 5 月 10 日（水）13:30～16:00 「小さなお店のための SNS 集客セミナー」 第 2 回 6月7日（水）13:30～16:00 「レイアウトマスター®15 の法則」 第 3 回 6月19日（月）13:30～16:00 「LINE 公式アカウント開設ワークショップ前編『アカウント開設・認証アカウント申請』」 「集客できるバックパネルのあり方 ツール 商談資料フォーマット キャッチコピーの作り方」 第 4 回 7月18日（火）13:30～16:00 「LINE 公式アカウント開設ワークショップ後編『配信実践・前編の宿題フォロー』」 「ツール持ち寄り 修正アドバイス」 第 5 回 8月23日（水）13:30～16:00 「手書き POP キャッチコピー修正」 フェア当日 9月6日（水）・7日（木）「フェア参加企業様のブースを、レイアウトマスター®たちが無料で手直し＆アドバイス」 第 6 回 9 月 20 日 13:30～16:00 「フェア報告会 期間中 SNS で集めた顧客リストへの、今後のフォローの仕方 自社に活かせる好事例などを情報共有」
参加者	第 1 回 会場：12名 オンライン：0 名 第 2 回 会場：18 名 オンライン：0 名 第 3 回 会場：16 名 オンライン：4 名 第 4 回 会場：10 名 オンライン：9 名 第 5 回 会場：12 名 オンライン：2 名 第 6 回 会場：7 名 オンライン：2 名
共 催	京都中央信用金庫

■中信学生デザインコンテスト2023、表彰式（京都中央信用金庫共催）

内　容	学生を対象とした、地域企業の商品パッケージと企業ロゴをテーマにしたデザインコンテスト。地域企業の商品の魅力を伝え、価値を高めるパッケージデザインと企業ロゴを広く募集し、次代を担う大学生・大学院生・専門学校生の斬新・創造的なデザインを募集し、地元企業の発展を目的に開催。今回から新たに出題企業からの「企業賞」授与も行った。
表彰式	10月 25 日（水）16：00～17：00
開催場所	KOIN・3－H 会議室
共　催	京都中央信用金庫
提　供	京都知恵産業創造の森賞（副賞5万円）
知恵森賞 受賞作品	藤井　萌木　氏（京都女子大学）

■京都アトツギゼミ 2023（京都信用保証協会共催）

内　容	京都府下の後継者が家業の持つ経営資源を活用し、新たな発想や技術を掛け合わせ新事業創出を行うためのノウハウや知識習得の場にするとともに、KOIN を拠点にアトツギコミュニティの構築を図ることを目的に実施。アウトプット型の連続5回のプログラム。
講　師	伊澤　慎一　氏（シンク・アンド・アクト株式会社　代表取締役）
共　催	京都信用保証協会

開催日	11 月 1 日(金)18:00～21:00 11 月 14 日(月)18:00～20:00 11 月 22 日(金)18:00～20:00 11 月 28 日(火)18:00～20:00 12 月 15 日(金)18:00～21:00		
参加者	17 名	開催場所	KOIN･7-CD 会議室

■アトツギ掛け算プログラム@KOIN

内 容	京都府下の後継者と様々なジャンルのゲストを掛け合わせ新たな気づきや後継者同士の繋がりを作るプログラム。今年度は学生時代に起業した若手起業家、コミュニティの場に多く参加している士業の専門家をゲストに迎え、新規事業の創出やコミュニティ作りを行った。 		
テーマ・講師	第 1 回 「スタートアップ×アトツギ」 株式会社カタルシス 代表取締役 山本 周雅 氏 株式会社 RE-SOCIAL 代表取締役 笠井 大輝 氏 合同会社ラピスプライベート 代表 山内 瑠華 氏 第 2 回 「おもしろ士業×アトツギ」 岡村勇毅公認会計士･税理士事務所 代表 岡村 勇毅 氏 燈友法律事務所 代表パートナー弁護士、ニューヨーク州･イリノイ州弁護士 鈴木 正靖 氏		
開催日	2月15日(金)、3 月6日(水)18:30～20:30		
参加者	第 1 回 13 名、第 2 回 12 名	開催場所	KOIN

■起業家の舞台裏（京都商工会議所青年部共催）

内　容	様々なキャリアを持つ経験豊かな京都商工会議所青年部の若手経営者が、起業から経営を軌道に乗せるまでに経験した、波瀾万丈の挫折からの成長ストーリーについて、対談形式で紹介した。
テーマ・講師	第1回：「～継続は力なり～誰にでもできることは必ずある」 瀧花 由朗 氏（株式会社マイルストーン 代表取締役） ナビゲーター：辻 政至 氏（公認会計士辻政至事務所 所長） 第2回：「ものを創造しつづける～革新を続ける力と大切さ～」 下島 満 氏（Flaming June 合同会社 代表社員 CEO） ナビゲーター：才本 和範 氏（京都プラン株式会社 代表取締役） 第3回：「時間差で融合、人生の回り道こそ最強の武器と化す」 山下 典子 氏（オフィス ルシール 代表） ナビゲーター：西村 寛和 氏（株式会社藍ぜん 取締役社長） 第4回：「たった一度の人生、何にどれぐらい情熱を注ぐか？」 八木 譲治 氏（有限会社ステップ・アップ 代表取締役） ナビゲーター：山領 真都 氏（有限会社一級建築士事務所ターボ設計 取締役）
共　催	京都商工会議所青年部
開催日	11 月 30 日（木）、12 月 21 日（木）、1 月 12 日（金）、2 月 6 日（火）18：30～20：30
開催場所	KOIN
参加者	第1回：23名　第 2 回：15名　第 3 回：19 名　第 4 回：19 名

■京都市ソーシャルイノベーション研究所（SILK）×KOIN オープンデー（京都市ソーシャルイノベーション研究所（SILK）共催）

内　容	「これからの 1000 年を紡ぐ企業認定」企業等によるトークセッションや社会的事業に関する個別相談を開催するとともに、経済センター館内で働く人や KOIN 利用者、社会課題解決型ビジネスを支援している SILK 関係者が相互に交流し、そこから新たな価値を生み出すことを目指すオープンイベントを開催した。
開催日	7 月10 日（月）16:00～19:00
開催場所	KOIN
共　催	京都市ソーシャルイノベーション研究所（SILK）
プログラム	①　ショートトークセッション「私たちの支援のカタチって」with これからの 1000 年を紡ぐ企

	業認定 認定企業 ② 社会的事業よろず相談 ③ 「これからの 1000 年を紡ぐ」認定企業紹介 ④ 語り × Café＆Bar カタルシス

■地域企業の人材戦略！ ～これからの新しい働き方～

内 容	働き方改革が進み、在宅勤務や男性育休取得など男女問わず、時間と場所に捕らわれない多様な働き方が広がってきている。 その中で、多様な働き方が広がる中で個人や組織として、あらためてライフを含めたキャリアを考え、そのうえで多様な働き方の実践者に出会うイベントを実施した。
開催日	① 12 月 6 日（水） 14:00～16:00 テーマ：ライフキャリアから考えるこれからの「はたらく」 ② 12 月 19 日（火） 18:30～20:00 テーマ：多様な「はたらく」に出会うセッション
開催場所	KOIN
協 力	株式会社ウエダ本社、utena works 株式会社
参加者	① 16 名 ② 11 名

■KYOTO SOCIAL IMPACT COMMUNITY@KOIN

内 容	京都の起業家・行政・投資家・支援機関などが繋がるネットワーキングイベント＆ピッチイベント。多くの起業家とその成長を見てきた先輩起業家の方々から、世の中にインパクトを残しながら、大小関わらず存続できる企業をつくるための学びを深めるトークセッションをはじめ、VC や支援者に向けて行うピッチ、支援機関から参加者へのリバースピッチ、交流会など様々なコンテンツを実施。

開催日	① 12 月 12 日（火） 18:00～20:30 テーマ：先輩社会起業家に学ぶ、社会課題解決をビジネスにする方法 京都で活動する社会起業家を招いたトークセッションと、参加者によるピッチと支援機関によるリバースピッチ、交流会でのネットワーキングを行った。 ② 2 月 14 日（水） 18:00～20:45 テーマ：インパクトスタートアップ・社会起業家の資金調達方法 多様な VC や金融機関をお招きし、資金調達に関するトークセッションを行った他、ゲストを含めた VC・金融機関等へ参加者が自身の事業に関する壁打ちができる時間を設けた。
開催場所	KOIN
協 力	株式会社 taliki
参加者	① 37 名 ②13 名

4 交流と協働による新たな価値創造の推進に関する事業

⑴ オープンイノベーションカフェ「KOIN」の運営

■KOIN 運営状況

令和 5 年度 利用者数	13，474名		
登録者数 ※3 月 31 日現在	6,101名	イベント等 実施回数	236 回
運営における 特記事項	・交流活発 Days の実施（3 月 4 日～6 日）14:00～16:00 通常のコワーキング営業も行いながら、交流を促すため飲食物を提供したり、職員による壁打ち等を実施。 ・交流コミュニティボードの設置や主な共創実績を掲示		

① 多様な人々によるオープンイノベーションカフェ「KOIN」の活用促進

■一般社団法人京都知恵産業創造の森（KOIN）5 周年記念フォーラム

内 容	本法人設立と KOIN 開業の 5 周年を記念して、「京都から新たな時代をつくる！」をテーマに、本法人とこれまで関わりの深い様々な分野で活躍されている方々によるパネルディスカッションを開催した。 ＜パネリスト＞ 山本 敏行 氏（株式会社 Power Angels CEO／Chatwork 創業者） 梅川 忠典 氏（リージョナルフィッシュ株式会社 代表取締役社長 CEO） 山本 周雅 氏（株式会社カタルシス 代表取締役／京大起業部部長／京都大学 7 回生） 柳 陽菜 氏（株式会社 FoodFul 代表取締役社長／立命館大学 3 回生） ＜コーディネーター＞ 竹内 弘一 氏（一般社団法人京都知恵産業創造の森広報アドバイザー／キャスター・ジャーナリスト／京都先端科学大学 特任教授） 		
開催日	11 月 29 日（水）	参加者	78 名

■学生連携企画「KOIN BAR」（カタルシス連携）

内 容	交流と出会いの場である KOIN において学生と社会人の接点を生み、学生の力を最大限に発揮し、京都の未来を創る産業人材として羽ばたいていくためのきっかけとなるイベントを、KOIN 受付業務を委託している株式会社カタルシスの学生たちとともに企画・実施した。
テーマ	第1回：Xross Burn ～学生起業家×学生団体 トーク＆交流会～ 第2回:ChatGPT／Bard を味方につけよう！ ～AI 大活用時代に乗り遅れるな～ 第3回：社会人のための「京大生式」勉強法セミナー 第4回：Xross Burn ～起業部 Demo Day～ 第5回：学生との働き方難しくないですか？～学生を巻き込む働き方、そして重要となるアフターワークとは～ 第6回：100 年企業（佐々木酒造・青木光悦堂）の進化論 ～知恵を活かした経営でヒットを打とう～ 第7回：Xross Burn ～京都で息吹く起業の新芽～ 第8回：編集力でミライを切り開け ～エディターとすぐに生かせる編集技術を身につける～ 第9回：AI vs 人 生成合戦ワークショップ 生成 AI 活用法 ～人間と AI の未来セミナー～ 第10回：Xross Burn ～アントレプレナーシップに触れる～
開催日	第1回：6月 18 日（日） 第2回：7月11日（火） 第3回：8月8日（火） 第4回：9月30日（土） 第5回：10月31日（火） 第6回：11月20日（月） 第7回：12月10日（日） 第8回：2月1日（木） 第9回：3 月 4 日（月） 第10回：3 月 20 日（水・祝）
開催場所	KOIN
参加者	第1回：24名 第2回：30名 第3回：14名 第4回：19名 第5回：16名 第6回：18名 第7回：20名 第8回：13 名 第9回：8 名 第10回：7 名

■KOIN 塾

内 容	自身のビジネスにかける想いの発信方法や、ビジネスパートナーの見つけ方など、人と関係性を構築するにはどういったことが必要なのか、「自身を成長させながら働く共創スタイル」を学ぶ全 7 回のプログラム。過去受講者の中には、子ども食堂を間借りした手話カフェをオープンされた方や、自身のマッサージサロンを開業予定の方もおり、「新しい一歩を応援する場」、「新しいことに挑戦したい人の出会いの場」として運営を行っている。

テーマ	第 1 回:マーケットシフト(社会変化) 第 2 回:セルフリライアンス(自己信頼) 第 3 回:ダイアログ(交流会) 第 4 回:プロセスシェア(良好関係の作り方) 第 5 回:ダイアログ(交流会) 第 6 回:マーケティングデザイン(独自戦略の描き方) 第 7 回:ダイアログ(交流会)		
協 力	一般社団法人 my turn		
実施日	8月～2月の第2土曜日(全 7 回)	参加者	109 名(累計)

■コワーキングフォーラム 2023 in 京都(コワーキング施設連携事業)

内 容	「コワーキングの在り方をアップデートする」をテーマに、全国各地のコワーキングスペース運営者・利用者をゲストに招き、「京都内外のコワーキングスペースの連携を生み出す」、「変化する時代におけるスペース運営の最先端を学び合う」、「スペース運営者や新しい働き方の実践者とのネットワーキングをする」ことを目的にイベントを開催。 イベント中にコワーキングスペースの代表同士が自由に交流し、情報交換やアドバイスを行う場面も見受けられ、参加いただいたコワーキングスペース及びその運営者の連携を育む場となった。 		
協 力	株式会社ツナグム		
実施日	10 月 15 日(日)	参加者	57 名

■×(クロス)▽(バリュー)夕活セミナー事業

内 容	仕事終わりの夕活事業として、気軽に参加交流できるセミナー等を実施
テーマ・講師	① 人気雑貨店が教える顧客に選ばれるノウハウ講座 店舗やイベントにおける陳列、キャプションによる自社商品の価値・魅力の正しい伝え方、Web 広告を活用した効果的なコミュニケーションのノウハウ等の実例を学ぶプログラム。 (1)顧客に伝わる情報整理 (2)認知を広げる為の具体的方法 (3)売場をつくり仕入担当者に伝える 講師:今出 貴裕 氏(株式会社ヒューマンフォーラム mumokuteki 事業部事業部長) 中村 至成 氏(株式会社ヒューマンフォーラム デジタルマーケティング部)

	 ② 社内起業・新規事業創出に向けたやさしい連続講座 (1)新規事業提案のための、思考法の使い分け、「いいとこどり」 (2)新規事業提案のための、アイデア発想ワークショップ (3)新規事業提案のためのチームビルディング(仲間集め) 講師:品川 啓介 氏(福岡女子大学リーダーシップセンター 教授)
実施日	① 10 月 5 日(木)、10 月 27 日(金)、11 月 9 日(木) ② 1 月 31 日(水)、2 月 9 日(金)、2 月 16 日(金)
参加者	①13 社 ②55 名(延べ)

■成功の秘訣

内 容	起業家や起業・講師に関心のある社会人・学生などを対象に、各界で活躍中の起業家や若手経営者を招き、普段聞けない経験談や苦労話などを縁の深いナビゲーターが引き出すセミナーを全5回で開催し、後半は交流会を開催した。
テーマ・講師	第1回:西畠 清順 氏(株式会社 office N seijun 代表取締役) ナビゲーター:森 清顕 氏(清水寺 執事 教学部長) 第2回:「LURRA°が京都を選んだ理由 ―日本の季節と文化のショーケースー」 宮下 拓己 氏(LURRA° 創業者) ナビゲーター:木村 元紀 氏(株式会社博報堂/元京都市都市ブランディングアドバイザー) 第3回:「京都から東京へビジネスで成功するリアルストーリー」 田中 知之 (FPM) 氏(音楽プロデューサー/選曲家) ナビゲーター:天野 譲滋 氏(株式会社ジョージクリエイティブカンパニー 代表) 第4回:「金融マンから見たフットボールクラブ投資・経営の魅力とその先に見据える展開」 小野 寛幸 氏(ACA Football Partners CEO) ナビゲーター:南薗 裕起 氏 (株式会社ファーストパートナーズ ・キャピタル 事業戦略部 マネージング・ディレクター) 第5回:「創業 5 年で上場、時価総額 2000 億円企業を創った秘訣」 辻 庸介 氏(株式会社マネーフォワード 代表取締役社長 CEO) ナビゲーター:森 清顕 氏(清水寺 執事 教学部長)

開催日	11月27日(月)、12月20日(水)、1月16日(火)、2月20日(火)、3月13日(水) 18:30～20:30
開催場所	KOIN
参加者	第1回:38名　第2回:23名　第3回:47 名　第4回:19 名　第5回:37 名

■京都経済センター館内交流事業

内　容	京都経済センター内の経済団体間の交流を目的に、KOIN を舞台に館内団体で働く人が気軽に集える機会を創出するイベントを開催した。
テーマ・協力	KOIN Evening Bar (一社)リリースの協力のもと、KOIN の会員や館内団体を対象としたコミュニティバー企画を実施。
実施日	①1 月 15 日(月)　②3 月 27 日(水)
参加者	①　15 名　②11 名

② 起業やスタートアップの発掘・育成と事業展開に向けた支援の取組の実施

■KOIN アイデアサポーター／アイデア相談窓口

内 容	KOIN アイデアサポーター／アイデア相談窓口を開設し、KOIN に寄せられる多種多様な相談をワンストップで対応した。
サポーター	＜アイデアサポーター＞ 藤井 哲也 氏（株式会社パブリック X 代表取締役／一般社団法人リリース 理事） 戸川 直美 氏（マネージャー・プロフェッショナルコーチ／Will Management-Company） 山本 周雅 氏（京都大学総合人間学部 7 回生/株式会社 Katharsis 代表取締役） ＜アイデア相談窓口＞ 清水 浩司 氏（株式会社ガイアックス スタートアップスタジオ事業部 事業メンター/ 人事担当マネージャー/家業の居酒屋経営） ＜IT なんでも相談窓口＞ 篠塚 尚明 氏（株式会社 Gns 取締役/CTO）
開催日	＜アイデアサポーター＞ 5 月 18 日（木）/5 月 24 日（水）/6 月 22 日（木）/6 月 23 日（水）/7 月 20 日（木）/ 7 月 27 日（木）/8 月 24 日（木）/8 月 31 日（木）/9 月 21 日（木）/9 月 29 日（金）/ 10 月 26 日（木）/10 月 30 日 （月）/11 月 16 日（木）/12 月 14 日 （木）/12 月 21 日 （木）/ 1 月 12 日（金）/1 月 19 日（木）/1 月 25 日 （木）/2 月 21 日 （水）/3 月 27 日 （水）/ 3 月 28 日（木） 10:00～11:00、11:30～12:30、13:30～14:30、15:00～16:00 ※1 月 25 日、2 月 22 日、3 月 28 日は 13:30～14:30、15:00～16:00 ＜アイデア相談窓口＞ 4 月 21 日（金）、5 月 19 日（金）、 6 月 16 日（金）、7 月 21 日（金）、8 月 22 日（火）、 9 月 27 日（水）、10 月 20 日（金）、11 月 17 日（金）、12 月 15 日（金）、1 月 15 日（月） 10:00～10:50、11:00～11:50、13:00～13:50、14:00～14:50 ＜相談窓口（学生起業）＞ 9 月 20 日（水） ＜IT なんでも相談窓口＞ 4回/月
利用者数	＜アイデアサポーター＞ 37名 ＜アイデア相談窓口＞ 48 名 ＜相談窓口（学生起業）＞ 1 名 ＜IT なんでも相談窓口＞ 28名 （※いずれも3月末日時点の累計）

■女性コンシェルジュによる相談窓口

内 容	「自身がもつアイデアをどのように実現していけば良いかわからない」、「同じ思いをもつ仲間を探したい」、「仕事と子育てに関して相談したい」、「自分らしい生き方・働き方について相談したい」など、どんなことでも気軽に相談できる窓口として、毎月第2火曜日に開設。経営やコミュニティマネージャー等の経験が豊富な女性コンシェルジュが相談対応を行う。 女性コンシェルジュとの相談を経て、自身のプロダクトをブラッシュアップされるなど、商品開発に活用いただいている事例もあり、「新しい一歩を応援する場」として運営を行っている。

協　力	一般社団法人 my turn		
実施日	6月～3 月の第 2 火曜日	利用者	34 名　※累計

■THE LEAN LAUNCH PAD

内　容	シリコンバレー生まれのシードアクセラレーションプログラム。「デザイン思考」や「リーンスタートアップ」など、事業をゼロから実現するための手法を学び、ビジネスプランの作成からアイデアの事業化を目指す実践講座。講座では、ホームワークで仮説と検証を繰り返しながら実践的に事業創造手法を学び、ビジネスアイデアの事業化に取り組む実践型のプログラムとして実施した。
対　象	「既にアイデアをお持ちの方」、「アイデアはまだないが、ゼロから考えてみたい方」、「他の人のアイデアを一緒に実現させることで、事業化プロセスを体験したい方」など
スケジュール	第 1 回　6 月 17 日(土)14:00～19:00 新商品アイデアを考える 第 2 回　7 月 2 日(日)10:00～15:00 商品アイデアを具体化・可視化する 第 3 回　7 月 29 日(土)14:30～18:30 商品への需要を検証する 第 4 回　8 月 12 日(土)14:30～18:30 ビジネスモデルの仮説を立てて検証する 第 5 回　8 月 26 日(土)14:30～18:30 収益モデルを構築する 第 6 回　9 月 9 日(土)14:30～17:00 DEMODAY(お披露目会)
講　師	堤　孝志　氏(スタートアップ・ブレイン株式会社　代表取締役) メンター：松橋　俊彦　氏(国立研究開発法人情報通信研究機構　マネージャー、 ボストン大学 MBA、RTTP(国際認定技術移転プロフェッショナル)) 吉武　直毅　氏(オムロン株式会社) 正木　達章　氏(オムロン株式会社) 寺本　大修　氏(株式会社 IDEABLE WORKS　代表取締役) かぬま　みほ　氏(令和 4 年度 The Lean Launch Pad 修了生)
修了者	17名

■U35 起業家育成プロジェクト事業

内　容	35歳以下の若年者を対象に起業に対する心理的ハードルを下げ、起業に向けた機運を醸成するとともに、起業を志す者同士のネットワークを形成するための講座を実施した。
テーマ	①これからの起業、ビジネスは「自力のススメ」 ②社内起業を成功共感とクラファンからはじめる、誰でもチャレンジできる起業の仕方させる 3つの秘訣 ③共感とクラファンからはじめる、誰でもチャレンジできる起業の仕方 ④留学生と見つける京都企業のお仕事 ⑤留学生から学ぶ就職・起業の秘訣 ⑥強み・得意を活かした、わたしらしい「働き方」・「起業」のつくり方
協　力	株式会社MIYACO
実施日	①5 月 22 日(月) ②7 月 25 日(火) ③8 月 21 日(月) ④2 月13日(火) ⑤2月19日(月) ⑥3月26日(火)
参加者	①20名 ②25名 ③21 名 ④9名 ⑤10名 ⑥15名

■ビジネス実践ラボ

内　容	起業を志す学生を対象に、ビジネスプランの作成から事業実践まで一気通貫で起業体験ができるプログラムを実施。書類やプレゼンにより6組の優秀なビジネスプランを選出。選出プランに対して最大50万円の実践費用を提供し、職員、アドバイザーによる伴走支援のもと、実際の事業活動を体験する。
対　象	大学・大学院・専門学校に通う学生
アドバイザー	石井 規雄 氏(結い経営 株式会社、SILK 経営コンサルタント・中小企業診断士) 渡邊 高行 氏(株式会社 Gns 代表取締役) 西村 敏 氏(日本政策金融公庫 国民生活事業本部 京都創業支援センター所長)

<table>
<tr><td>プログラム</td><td>① 応募期間
6月6日(月)～7月 24 日(月)
② 応募説明会
7月3日(月)18:00～19:00
③ ビジネス基礎講座・個別相談会
8月 7日(木)18:00～20:00(基礎講座①)
8月24日(木)13:00～17:00(個別相談会① ※オンライン、希望者のみ)
8月31日(木)18:00～20:00(個別相談会②、希望者のみ)
9月 4日(月)18:00～20:00(基礎講座②)
9月 7日(木)13:00～17:00(個別相談会③、希望者のみ)
④ プレゼン審査会
9月15日(金)13:00～21:00
⑤ 認定証交付式・採択者説明会
10月13日(金)18:00～19:00
⑥ 実践進捗報告会
11月16日(木)・12月22日(金)・1月19日(金)・2月16日(金) 各18:00～20:00
⑦ 実践最終報告会
3月15日(月)18:00～20:00</td></tr>
<tr><td>認定プラン</td><td>
<table>
<tr><th>氏名</th><th>学校名</th><th>プラン名</th><th>交付金額</th></tr>
<tr><td>徳山 倖我</td><td>京都産業大学</td><td>TSUKUM</td><td>500,000 円</td></tr>
<tr><td>大下 耕</td><td>同志社大学</td><td>アイルビーキャンプ</td><td>300,000 円</td></tr>
<tr><td>山本 新</td><td>同志社大学</td><td>CoPalette</td><td>300,000 円</td></tr>
<tr><td>百武 大翔</td><td>佛教大学</td><td>Next generation work out school</td><td>300,000 円</td></tr>
<tr><td>速水 瑠奈</td><td>立命館大学</td><td>ウラカタの晴れ舞台 PJ -自分自身をデザインすることを肯定できる文化を創る挑戦-</td><td>300,000 円</td></tr>
<tr><td>今村 瑞</td><td>同志社大学</td><td>SCORE チームと指導者を繋ぐ
マッチングプラットフォーム</td><td>250,000 円</td></tr>
</table>

</td></tr>
</table>

■20’s Kyoto Innovation Academy（京都イノベーションアカデミー）

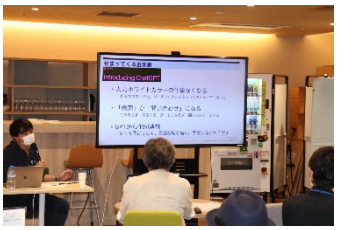
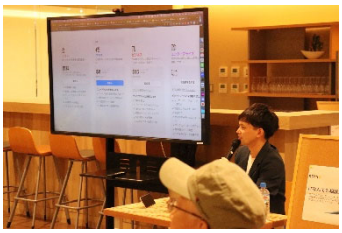
内　容	京都府内における若手起業家の起業・事業加速を促進するため、概ね 20 代・30 代の起業している人、起業を目指している人を対象に、20 代で起業した活躍中の先輩起業家等を招き、セミナー及び交流会を開催した。
テーマ・講師	第1回：「これだけはするな！失敗から学ぼう」 小澤 忠 氏（株式会社花形 代表取締役） 第2回：「学生起業のススメ」 大亀 靖治 氏（株式会社おもれい 代表取締役） 進行：小澤 忠 氏（株式会社花形 代表取締役） 第3回：「自分らしい人生の意思決定とは？ソーシャルグッドな起業が世の中を良くしていく」 中村 多伽 氏（株式会社 taliki 代表取締役 CEO、taliki ファンド 代表パートナー） 進行：小澤 忠 氏（株式会社花形 代表取締役） 第4回：「熱狂する組織をつくって大きな社会課題に立ち向かえ」 他力野 淳 氏（バリューマネジメント株式会社 代表取締役） 進行：小澤 忠 氏（株式会社花形 代表取締役）
開催日	11月16日（木）、12月18日（月）、1月23日（火）、3月11日（月）18：30～20：30
参加者	第1回：11名　第2回：11名　第3回：14 名　第 4 回：11 名

■KOIN マルシェ in 大垣書店

内　容	知恵森（KOIN）が支援している、または関係・協力団体が応援している創業間もない方（概ね創業3年以内）・起業を志す学生などが開発した商品やサービスを展示販売できるチャレンジショップの場を提供。 出店者同士の交流に加え、多様な顧客との出会いにより自店の強み・弱みを再確認出来る学びの場となった。
実施日時	第 1 部：2 月 16 日（金）～17 日（土） 第 2 部：2 月 22 日（木）～23 日（金・祝）

場　所	大垣書店京都本店　イベントスペース「催」（京都経済センター1階）
出店者	9 社（第1部：4 社・第2部：5 社）

■KOIN スキルアップ講座

内　容	KOIN 利用者（起業準備層）に向けたスキルアップ講座を実施。 利用者よりニーズの高かった「IT ツール」の活用・SNS 戦略をテーマにセミナー、及び、連続講座形式でのワークショップを開催した。 ※SNS 戦略：Instagram・Facebook・Twitter・TikTok・LINE・景品表示法 ※IT ツール：ChatGPT・Miro・Slack・Notion・Canva 等  		
講　師	①　清水　浩司　氏（株式会社ガイアックス　スタートアップスタジオ事業部　事業メンター、人事担当マネージャー） ②　牧野　唯仁　氏（株式会社　レプス　SNS コーディネーター） 加々本　裕樹　氏（MBS グループ　株式会社ピコリ　取締役） 箭内　智美　氏（Slan） 今村　雄飛　氏（BUZZ MEDIA 株式会社　代表取締役） 前田　響　氏（Lightleaks Inc.　代表取締役） ③　篠塚　尚明　氏（株式会社 Gns　取締役、CTO） ④　清水　浩司　氏（XTC JAPAN 運営委員会　副幹事）		
開催日	①　KOIN　スキルアップ講座　ChatGPT　プロンプト次第でどう活きる？ 5 月 19 日（金）18:30～20:00 ②　SNS 戦略～最新のツール事情～ 8 月23日（火）18：30～20：00 8 月28日（月）18：30～20：00 9 月19日（火）18：30～20：00 ③　IT ツール活用のための実践型連続講座 9 月 26 日（火）18:30～20:00 10 月 18 日（水）18:30～20:00 11 月 15 日（水）18:30～20:00 12月 13 日（水）18:30～20:00 ④　ChatGPT　IDEA ACCELERATION 2 月 17 日（土） 3 月 2 日（土） 3 月 16 日（土） ※2 月 24（土）、3 月 10（日）にオンライン講座を実施		
参加者	①　20 名 ②　112名（通算） ③　65名（通算） ④　79 名（通算）	場所	KOIN オンライン

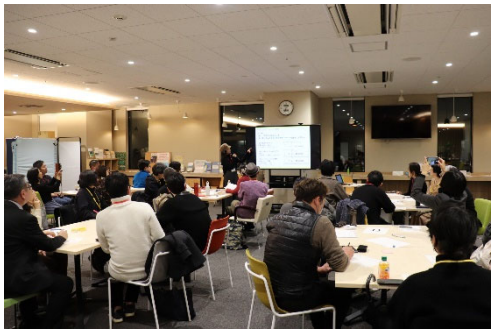
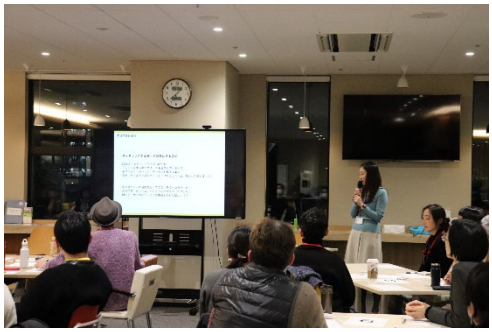
③ SNS や掲示板等を活用した情報発信の強化

KOIN 利用登録者を中心とする約 2,000 件に対して、毎週金曜日にメールマガジンを配信。当法人の主催事業に加え、関係支援機関等が実施するイベント情報等を発信した。

また SNS においては、セミナー・イベントの案内や報告記事に加え、その日の受付学生スタッフが日替わりでコラムを投稿するなど、KOIN を舞台に活躍する若手人材への発信に注力した。

④ ネットワークを活用した起業支援の充実

■KOIN Alumni Gathering

内 容	「ビジネス実践ラボ」や「THE LEAN LAUNCH PAD」の修了生など、KOIN で実施してきた多様な連続講座などの参加者と支援者の交流を促し、支援の輪を広げるためのイベントを開催した。  
開催日	2 月 21 日（水）
参加者	27 名

⑵ 京都産業及び京都企業の魅力発信

KOIN の WEB サイト、SNS、メールマガジン等を活用して情報発信を行ったほか、京都市の企業誘致プロジェクト「京ワーキング」ホームページに対談記事を掲載いただくなど、積極的な情報発信を行った。

5 スマート社会の実現に関する事業

⑴ スマート産業関連の生産性向上

■DXファクトリー推進人材育成事業（京都の未来をつくる「DX人材育成×産業創発」プロジェクト）

内 容	中小ものづくり事業者のDXの導入等によるエコエネルギーの推進やスマートファクトリーの構築等に向けて、①専門コーディネータによる事業者視点に立った丁寧な伴走支援、②啓発セミナーの開催（年 2 回）、③中小ものづくりDX推進アドバイザーの派遣（6社宛て）を実施した。
実 績	・雇用創出 116名（うち良質雇用 47 名） （2023 年度目標: 雇用創出 28 名、うち良質雇用 14 名） ・セミナー等開催：2回 参加者：（延べ）109 名

内 容	日 程	参加者数
① 中小ものづくり DX 推進アドバイザー派遣事業・第 1 回成果発表会	令和 5年 6月 7日	62 名（オンライン）
② 中小ものづくり企業への DX 導入セミナー～業務の DX 化推進と DX 人材育成の好循環～	令和 6年 2月 7日	47 名（オンライン）

・雇中小ものづくり DX 推進アドバイザー派遣実績
従事時間数合計：700.0 時間

派遣先	派遣アドバイザー	従事時間数（時間）
① （株）坂製作所	泉谷武史	29.0
② （株）俵屋吉富	野原章央	154.5
③ （株）大東技研	野原章央	114.5
④ （株）八代目儀兵衛	炭谷翔吾	110.0
⑤ （株）松栄堂	小笠原知広	87.5
⑥ （株）もり	篠塚尚明	204.5

■スマート社会実装化促進事業

内 容	「スマート社会」の実現を目指すため、新たなサービスや技術の開発等のイノベーションの構築に向けた取組みを行う京都企業等を対象に経費の一部を補助した。また、専門コーディネータによる採択事業者（過年度を含む）に対するフォローアップを継続実施した。
実 績	・スマート社会実装化促進事業補助金（5件 7,924 千円）

■京都スマートプロダクト認定事業

内 容	京都府内の中小企業等が、自社製品等として製造の全部又は一部を行っている、エコ・省エネの取組みや、AI・IoT 等を活用したスマートシティの推進に資する製品・サービスを「京都スマートプロダクト」として認定し、情報発信や販路開拓等を支援した。

<table>
<tr><td>実　績</td><td>・認定：13 件（エコ関係 10 件、スマート関係6件（重複 3 件））
<table>
<tr><th>製品・サービス名</th><th>企業名</th></tr>
<tr><td>① 廃棄と炭素排出を最小化するサーキュラーデザインのマットレス「ラークオール」</td><td>株式会社イワタ</td></tr>
<tr><td>② CO2 を吸着、固形化して作製した再生ガラス「Reco Glass」</td><td>AC Biode 株式会社</td></tr>
<tr><td>③ 広島平和記念公園に届く折り鶴を再生及び再生紙を活用した防災用品収納箱「My絆BOX」</td><td>株式会社カスタネット</td></tr>
<tr><td>④ 「京都の薬局プロジェクト」から生まれた調剤支援アプリ「my薬剤師」</td><td>株式会社 Geek Guild</td></tr>
<tr><td>⑤ さとうきびの搾りかす・バガスをアップサイクルした京丸うちわ・京扇子</td><td>Curelabo株式会社</td></tr>
<tr><td>⑥ デジタル技術を活用した日本探訪動画配信サブスクリプションサービス「TANBOW」</td><td>KYOTO’s 3D STUDIO 株式会社</td></tr>
<tr><td>⑦ 自動で人と協調し障害物を避けながら荷物を運ぶロボット「KeiganALI」</td><td>株式会社Keigan</td></tr>
<tr><td>⑧ 水素＋窒素混合ガス自家発生装置「Dr. ONE SEVEN」</td><td>コフロック株式会社</td></tr>
<tr><td>⑨ 独自開発の新素材 cle フィルターを使用し、ほぼ全ての臭いに対応可能な脱臭装置</td><td>株式会社シューマン</td></tr>
<tr><td>⑩ 全天球画像を利用した現場管理ソフト「SPOT 360」・使いやすさを追求した点群ソフト「Clear points」</td><td>株式会社シュルード設計</td></tr>
<tr><td>⑪ リサイクル・リデュースを実現！土からできたお香立</td><td>株式会社松栄堂</td></tr>
<tr><td>⑫ 防音・断熱下地材「床デコシート（防音タイプ/ 現状復旧タイプ）」</td><td>株式会社 DIY　STYLE</td></tr>
<tr><td>⑬ ドローンデータからの森林情報解析ソフトウェア「DF Scanner」、「DF LAT」</td><td>DeepForest Technologies 株式会社</td></tr>
</table>
・販路開拓機能強化の2年目の施策として、認定製品の周知用動画に当法人広報戦略アドバイザーの竹内弘一氏を起用した他、前年度認定の8製品に対して、販路委開拓支援費 1,197 千円を補助した。</td></tr>
</table>

⑵ 中小企業等のスマート化、省エネ・節電支援

■中小企業等への省エネ・節電・EMS診断事業

内　容	事業所や工場に専門家を無料で派遣し、設備の運転状況の確認、データの計測・分析を行い、生産性の向上に資する総合的な改善方策を提案した。また、この中で、サプライチェーンの脱炭素課に取り組もうとする京都府内企業に対して、SBT等の国際的に認知された認証等に整合した排出量削減目標や再生可能エネルギーの導入計画の策定等を支援する「サプライチェーン脱炭素化支援事業」の対象1事業者の省エネ診断も実施した。
実　績	・中小企業等への省エネ・節電・EMS診断事業 （詳細診断35件、うちサプライチェーン脱炭素化支援事業分1件）

■自立型再生可能エネルギー設備等導入補助事業

内 容	中小企業等が条例に基づく計画認定を受け、自己消費のため導入する再生可能エネルギー設備及び効率的利用設備（EMS、蓄電池）に要する経費の一部を補助することで、再生可能エネルギー、EMS及び蓄電池の導入を促進した。
実 績	・自立的地域活用型再生可能エネルギー設備等導入補助事業補助金 （8件 28，970 千円）

■中小企業等の高効率機器整備への支援

内 容	京都市内の中小事業者が行う省エネ効果の期待できる高効率機器（空調、換気、照明、給湯設備）の導入に係る費用を支援し、市内の準特定事業者（※）への個別のCO2排出量等のフィードバックを踏まえた省エネ改修を後押しした。 ※事業の用に供する建築物（床面積合計が 1,000 ㎡以上）の所有者
実 績	・京都市中小事業者の高効率機器導入促進事業補助金（41 件 79，902 千円）

⑶ スマート産業に関わるネットワークの形成

京都エコ・エネ交流クラブ会員やエコ・エネルギー関連及びスマートファクトリー関連事業者とのネットワークの形成を推進した。

また、「京都産業EMS導入促進連絡会議」を運営するとともに、令和 2 年度に京都府内の中小企業等支援機関との情報共有・連携を強化するため新たに立ち上げた「京都スマート社会推進連携会議」の第3回会議を開催した。

＜京都産業EMS導入促進連絡会議の運営＞

日 程	出席団体	議 題
令和5年8月 25 日	京都府、京都市 （府市とも商工・環境部門両方） 京都知恵産業創造の森	・令和5年度 EMS関連補助事業に係る申請・採択状況について ・知恵森事業の課題等について ・府市の令和6年度予算要求状況について 等
令和5年12月22日	同上	同上

＜京都スマート社会推進連携会議＞

日 程	出席団体	議 題
令和6年3月1日	京都府、京都市（府市とも商工・環境部門両方） 京都商工会議所、京都府商工会連合会、京都工業会、 京都府中小企業団体中央会、京都産業21、 京都高度技術研究所、関西文化学術研究都市推進機構、 京都府テレワーク推進センター、 京都府産業廃棄物3R 支援センター、 京都府地球温暖化防止活動推進センター、 経済産業省近畿経済産業局、 環境省近畿地方環境事務所、 中小企業基盤整備機構	・本会議の趣旨・目的説明 ・各機関の取組内容の共有 ・各機関との連携の可能性検討 ・名刺交換会 等

6 産学公連携の推進に関する事業

⑴ 産学公連携によるオープンイノベーションの推進

■産学公連携相談窓口

京都府内企業及び大学等の産学公連携ニーズに対応するための相談窓口を設置し、企業と大学等の橋渡しを行った。

・橋渡し件数…18 件（ほか、産産連携橋渡し2件）

相談内容	相談元	橋渡し先
①アントレプレナーシップ教育での商品開発などの連携	京都橘大学	農業者
②麩製品の若者への展開	食品製造販売事業者	京都美術工芸大学
③新素材を使用した商品開発	珈琲・菓子製造販売事業者	池坊短期大学
④BtoC 向けの製品開発	金属加工業者	京都橘大学
⑤課題解決型授業（新製品開発）の連携先	同志社大学	食品製造販売事業者
⑥BtoC 向けの製品開発、学生との意見交換	梱包材製造業者	京都産業大学
⑦おからの活用	機械メーカー	龍谷大学
⑧スタンピングフォイルを活用した BtoC 向け製品開発	真空蒸着・コーティング総合メーカー	京都精華大学
⑨植物工場向け電子機器の効果検証	電子機器メーカー	京都工芸繊維大学
⑩企業向けメンタリングシステムの相談	マニュアル制作・プロモーション支援事業者	京都文教大学
⑪刑務所と連携した商品販売プロジェクトへの協力	地方創生・観光・人材教育事業者	京都光華女子大学
⑫配管調査を行うロボットの開発	機械設計、3D ソリューション開発事業者	龍谷大学
⑬展示施設の情報発信	食品製造販売事業者	京都ノートルダム女子大学
⑭施設の案内表示などの情報伝達における課題解消	建物総合管理事業者	京都ノートルダム女子大学
⑮自律走行する検査ロボットの開発	機械設計、3D ソリューション開発事業者	京都先端科学大学
⑯海外に京都の伝統工芸等を紹介するサイトの取材・記事制作	伝統産業支援事業者	佛教大学
⑰お茶のノベルティが印象形成に及ぼす影響	茶商品企画販売事業者	京都橘大学
⑱生麩の物性に関する研究について	食品製造販売事業者	京都府立大学

※ 先端技術分野（XR・メタバース・Web 3.0 等）活用の相談体制の充実（5/29～）

以下のとおり、専門家による先端技術分野に関する相談窓口を設置した。

期　　間　令和5年5月29日～令和6年3月31日

対　　象　京都府内に本社、事業所を有する事業者及び大学等学

相談件数　5件

■産学連携共同研究開発事業

産学連携により、新しい社会的価値の創出に繋がる挑戦的・創造的、かつ、広く社会的課題を解決する大学等の研究成果・技術の実用化・事業化を積極的に支援するため、研究開発費を補助するとともに、中小企業診断士による事業のサポートを実施。また、報告会で広くその成果を報告した。

・ 助成概要　募集期間：令和5年6月1日（木）～7月31日（月）
　　助成金額：最大100万円
　　申請件数：5件

・ 採択事業一覧（計4件）

事業内容	大学等
土の水の流れを可視化する	京都大学
脱炭素化の推進を目的とした都市樹木の光合成活性評価モデル開発	京都工芸繊維大学
多様化する住宅確保要配慮者への、民間による空き家を活用した適正かつ持続的な住宅提供事業モデルの構築	京都工芸繊維大学
京都府名産品＋オール京都で脱プラスチックの自然に返る気球を創る	京都府立大学

・ 報告会　　産学連携成果発表会（令和6年3月21日（木）開催）で報告

■リバースピッチ事業『Open Innovation Showcase in KYOTO』

内　容	オープンイノベーションに積極的な企業から、事業連携・協業に向けたニーズを発表してもらい、新たな連携につなげる発表会の開催
開催日等	日　　時　令和5年9月29日（金）午後4時～午後6時 会　　場　京都経済センター7階会議室
登壇企業・テーマ	西日本旅客鉄道株式会社　「嵯峨嵐山・太秦エリアまちづくりの取組みについて」 株式会社村田製作所　　「Innovator in Electronics であり続けるための挑戦」 ローム株式会社　　「ロームのオープンイノベーション～ロームの期待～」
参加者	参加申込　300名 参加者数　220名（会場　98名、オンライン　122名）
提案受付	受付期間　令和５年10月2日～10月31日 提案件数　28 件

⑵ 地域連携への支援

■地域連携支援事業

地域社会における様々な社会課題に対して、大学の知見及び学生の柔軟なアイデア・発想力等を活かした取組を支援することで、これらの課題解決に結びつけると共に持続可能なビジネスモデルの構築を目指すための助成の実施。産学連携成果発表会で報告し、成果の共有を図った。

・助成概要 募集期間：令和5年6月1日（木）～7月31日（月）
助成金額：20万円
申請件数：11件

・採択事業一覧（計9件）

事業内容	大学等
市内観光混雑緩和と府内観光振興両立の鍵を握る“新しいレトロ旅”検証	京都府立大学
伝統産業を活用した地域活性化を考えるプログラム in 京都山科清水焼団地	京都橘大学
今熊野学区における学生と住民による移住促進拠点づくりプロジェクト	京都美術工芸大学
京丹後市網野町小浜海岸におけるマイクロプラスチックの除去	大谷大学
こども食堂による世代を超えた地域コミュニティの創造	京都橘大学
京丹後市における若手アグリビジネス起業者のネットワーク構築	京都先端科学大学
京都から広める日傘レンタルサービス ～京都に調和し、暑さに対応する日傘の普及提案～	同志社大学
タキイ種苗×京都精華大学　連携共同研究授業「種まく×未来　プロジェクト」	京都精華大学
小川珈琲株式会社との SDGS 共同研究開発	池坊短期大学

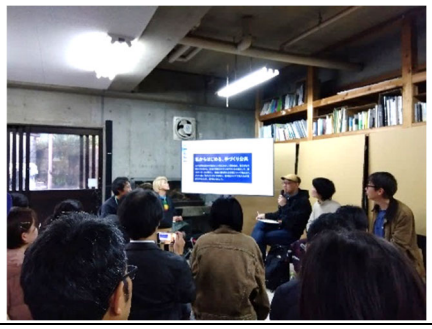
・ 報告会 産学連携成果発表会（令和6年3月21日（木）開催）で報告

■学生対象PBL事業『KOINゼミ～ソーシャル・イノベーション入門～』

内 容	社会課題解決や起業に興味がある学生を対象に、ソーシャルイノベーションについて学ぶゼミ形式の講座を開催することで、ビジネスを通じて社会課題を解決することに興味のある学生を増やす取組み。
開催日	※講座（時間19：00～20：30） ①8/31、②10/19、③11/2、④11/22 ※現場訪問 9/6 船岡山，9/14 梅小路，9/17 船岡山，9/18 京都リサーチパーク（Little You），9/21 キャリバ
参加者	参加申込 20名 参加者数 15名

■産学連携調査研究事業

京都で長年続いてきた産業、企業が守ってきたことや、新しく取り入れたことについて、事業者、研究者、学生等が意見交換する場をつくり、新たな取組を誘発する事業。

テーマ （参加人数）	①地域密着型商店街の外国人観光客向けツアー組成 ②企業の地域貢献
①商店街	9/14　モデルツアーについて意見交換 11/21　京都三条会商店街でモデルツアー開催 1/18　モデルツアー振り返り会開催
②地域貢献	10/23　地域の方の交流の場づくりについて意見交換 12/19　地域の方の交流の場づくりについて意見交換 3/17　交流イベント「船岡山オープンパーク・パークナイト」実施 

⑶ 関係団体との連携による情報交換、情報発信

■産学公連携プラットフォーム会議

・第1回　令和5年6月1日（木）

内　容	・産学公連携推進部事業報告 ・令和５年度産学公連携共同研究開発事業及び令和５年度地域連携支援事業について ・講演 【演題】「外国への技術流出のリスク」 【講師】京都府警察本部　警備部　外事課　警部　長岡　弘朗　氏 【演題】「アントレプレナー育成プログラムについて」 【講師】京都産業大学　学長室　課長　奥村　靖之　氏 ・交流会（グループ別意見交換会）
参加者数	43名

・第2回　令和6年3月21日（木）

内　容	・産学公連携プラットフォーム会議新規参画団体について 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 ・令和6年度の事業概要について 京都府、京都市、京都知恵産業創造の森（スマート社会推進部、産学公連携推進部） ※終了後、産学連携成果報告会開催
参加者数	38名

■支援事業説明会

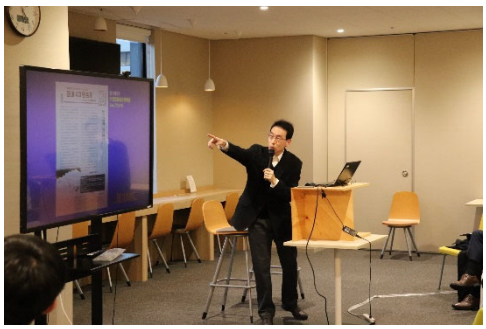
日　時	令和5年10月 17 日(火)10時～15時 オンライン配信
内　容	・近畿経済産業局地域経済部地域連携推進課　課長補佐　菅　佳寿美　氏 「産学官(公)連携に掛かる産業施策について」 ・(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構　関西支部　事業管理グループ 専門調査員　川上　隆一郎　氏 「分野横断的公募事業の紹介」(大学・研究機関/スタートアップ/中小企業向け事業) ・近畿農政局生産部生産技術環境課　課長補佐　松浪　正吉　氏 「農林水産研究開発関係予算等について」 ・(独)環境再生保全機構環境研究総合推進部研究推進課　課長　冨永　貴寿　氏 「(独)環境再生保全機構(ERCA)の環境研究総合推進費について」 ・(国研)科学技術振興機構　スタートアップ・技術移転推進部 マッチングプランナー　長岡　由起　氏 「JST によるスタートアップ・技術移転推進支援事業の紹介」 ・(国研)日本医療研究開発機構　医療機器・ヘルスケア事業部 医療機器研究開発課　吉田　哲也　氏 「AMED の医工連携イノベーション推進事業について」 ・(独)日本学術振興会　研究事業部長　高見沢　志郎　氏 「日本学術振興会(JSPS)における支援事業について」
参加者数	65名

■産学連携成果発表会

開催日等	日時　令和6年3月21日(木)15 時 50 分～17 時 40 分 会場　KOIN
内　容	1　プレゼンテーション ①京都工芸繊維大学 ・テーマ　脱炭素化の推進を目的とした都市樹木の光合成活性評価モデル開発 ・代表者　京都工芸繊維大学 応用生物学系 教授　半場　祐子　氏 ②京都大学 ・テーマ　土の水の流れを可視化する ・代表者　京都大学 工学研究科 都市社会工学専攻ジオマネジメント工学講座 助教　宮﨑　祐輔　氏 ③池坊短期大学 ・テーマ　植物由来の新素材『セルロースナノファイバー』を活用した洋菓子の開発 ・代表者　池坊短期大学 教授　堀江　茂久　氏 ④同志社大学 ・テーマ　京都から広める日傘による暑さ対策～京都に調和する和日傘のレンタル利用～ ・代表者　同志社大学 経済学部 准教授　奥田　以在　氏 ⑤京都精華大学 ・テーマ　種まく×未来 プロジェクト ・代表者　京都精華大学 デザイン学部 教授　米本　昌史　氏

	2　交流会
参加者数	61名

■リエゾン勉強会

概　要	産学連携の活性化に向けて大学のコーディネーターや産学連携担当部署の職員等を対象に実施するセミナー及び交流会の開催
開催日 ・会場	日時：令和6年2月7日（水）16 時 30 分～18 時 30 分 会場：KOIN
講演者・ テーマ等	○講演「産学連携が、大学のイメージアップと学生の成長をもたらす！」 講師：京都光華女子大学短期大学部 教授 鹿島 我 氏・講師 羽深 太郎 氏・学生グループ ○講演「大学のリエゾンとまちのリエゾン」 講師：NPO 法人 DGC 基礎研究所 副代表理事 邑瀬 章文 氏 （兼 京都府立大学産学公連携コーディネーター） ○講演「産学連携における契約上のリスクと対応」 講師：御池総合法律事務所（京都弁護士会）弁護士 若竹 宏諭 氏 （兼 INPIT 京都府知財総合支援窓口 企業派遣専門家） ○交流会 
参加者	27名

■情報発信

メールマガジンやSNSにより、主催事業や参画団体の事業等その他産学公連携に有用かつタイムリーな情報について発信を行った。

また、ホームページのリニューアルを実施した（3 月 29 日）。

（【令和6年3月末時点】メルマガ会員数約 500 人・週1回発信、SNS（Facebook）フォロワー約530人・随時発信）

■参画大学等との共催・連携事業

京都市立芸術大学 「イブニングテラス」	・第3回　令和5年4月5日（水）18：00～19：30 講演者　任天堂株式会社取締役 専務執行役員企画制作本部長　高橋　伸也　氏 テーマ　芸大生の多い会社って？ 参加者　53名 ・第4回　令和5年8月4日（金）18：00～19：30 講演者　京都市立芸術大学美術学部 准教授　磯部　洋明　氏 京都市立芸術大学在学生（3名）、京都大学大学院（2名） テーマ　芸術と科学が出会う時 参加者　44名
大学生グローバルベンチャーコンテスト実行委員会 「KYOTO 大学生グローバルベンチャーコンテスト 2023」	日　時　令和5年11月11日（土）予選 令和5年11月12日（日）決勝戦・表彰式 内　容　海外からの大学生、日本人大学生、日本在住の留学生による、学生の感性を活かしたベンチャーコンテストの開催 参加者　182名（30チーム）
京都工業会 「モノづくりフォーラム 2024」	日　時　令和6年2月1日（木） 内　容　基調講演　一般社団法人 Japan Innovation Network 専務理事　西口　泰夫　氏 事例紹介　イシダメディカル株式会社 代表取締役社長　國﨑　嘉人　氏 株式会社日進 FULFIL 代表取締役社長　錦織　晃　氏 参加者　126名（会場参加43名、オンライン参加83名）
（公財）京都高度技術研究所・ 京都クロスメディア戦略推進拠点、京都府、（公財）京都産業21、京都府雇用創造推進協議会 「MIX 先端デジタル技術活用相談会」	日　時　令和5年12月26日（火） 内　容　先端デジタル技術活用に関する専門家による講演、壁打ちの実演、支援団体の取り組み紹介、相談・交流会 ・講演　株式会社ゆめみ　野々山　正章　氏 ・壁打ち　（相談者）株式会社松竹撮影所・株式会社シュルード設計 株式会社 MIYACO （専門家）BASSDRUM　森岡　東洋志　氏 株式会社ガイアックス　清水　浩司氏 株式会社 Skeleton Crew Studio 石川　武志　氏 株式会社ゆめみ　野々山　正章　氏 ・支援団体の取り組み紹介 公益財団法人京都高度技術研究所 KCROP 京都クロスメディア戦略推進拠点 一般社団法人　京都知恵産業創造の森 参加者　23名

7 スタートアップの創出及び成長支援の推進

⑴ スタートアップ・エコシステムの充実

① スタートアップの創出に向けた支援

スタートアップが創業時に必要な知識を学ぶ Kyoto Startup Challenge セミナーの開催、弁護士・公認会計士による専門家相談や、ベンチャーキャピタル・先輩起業家による壁打ち相談、メンタリングにより、創業前後の様々な課題へ対応するとともに、大学発スタートアップ創出に向けたコミュニティ形成のためのプログラム、小中学生や高校生等を対象としたアントレプレナーシップ啓発セミナー等の開催を通じ、スタートアップが創業しやすい環境の整備に取り組んだ。

■Kyoto Startup Challenge セミナー

<table>
<tr><td>内 容</td><td>スタートアップとして創業するのに必要な知識を体系的に学ぶセミナー
次の5つのテーマで実施
①スタートアップの概論 ②資本政策、資金調達（エクイティ） ③契約書
④事業立ち上げ ⑤資金調達（デッド）
対象者：U40 でビジネスアイデアを持っている方で、
・初めて株式（エクイティ）による資金調達を目指す方
・創業前、又は創業後2年未満の方
・原則、5回全ての回に参加できる方
場所：KOIN他
※全テーマ受講した者には特定創業支援事業として認定
（特定創業支援事業認定メリット）
・創業時における法人登記の登録免許税が減免
・地域の金融機関において特別金利で融資が可能 等</td></tr>
<tr><td>運 営</td><td>ライトアップベンチャーズ株式会社</td></tr>
<tr><td>実施日
参加者</td><td>
<table>
<tr><th>実施日</th><th>講師 VC</th></tr>
<tr><td>10 月 19 日</td><td>岩井 裕之 氏（かっこ（株） 代表取締役 CEO）</td></tr>
<tr><td>10 月 26 日</td><td>塩月 亨 氏（（株）コロケット 代表取締役）</td></tr>
<tr><td>11 月 10 日</td><td>林 雄亮 氏（弁護士 TMI 総合法律事務所京都オフィス）</td></tr>
<tr><td>11 月 22 日</td><td>小南 秀光 氏（（株）プロディライト 代表取締役社長）</td></tr>
<tr><td>12 月 8 日</td><td>藤本 翔 氏（株式会社 Casie 代表取締役 CEO）</td></tr>
</table>
総延参加者数 9名（特定創業支援事業認定対象者数 9 名）
・新規設立 2 社、今後設立予定 1 社
・資金調達 1 社
（シード調達に向けて、VC と交渉中）
・登壇ゲスト（起業家）との個別面談 2 回
</td></tr>
</table>

■ KOIN 起業プログラム

内　容	起業・スタートアップを目指す方を対象に、起業支援に実績のあるプログラムナビゲーターによる講義及び投資家、先輩起業家を招いたプログラムを実施。事業計画から財務戦略・資金調達など起業に必要な知識を身に着けるプログラム。
実施日・内容	日　時：1 月 11 日（木）、1 月 19 日（金）、1 月 26 日（金）2 月 5 日（月） 各　回：18 時 30 分～21 時 対　象：創業を目指す方、または、起業後、5 年以内の方 講　師：伊藤　弥生　氏（伊藤弥生公認会計士事務所・結税理士法人　代表） 西村　敏　氏（日本政策金融公庫　京都創業支援センター　所長） 本田　勇人　氏（フューチャーベンチャーキャピタル株式会社　西日本投資部アソシエイト） 奥西　敏宏　氏（株式会社 Three Grams　代表取締役） 横田　裕子　氏（株式会社 AZOO　代表取締役） 内　容：ビジネスモデル　-実現可能なビジネスプランの立て方- 財務戦略　-株式会社の仕組みと資金調達方法- 利益計画の立て方　-投資家・金融機関が見るポイント- 企業成長戦略（顧客開拓、組織、人材確保）-先輩起業家に聞く企業の成長戦略-
参加者	参加者：23 名（うち 3 名創業予定、5 人が特定創業証明書の発行依頼あり。）

■VC 壁打ち、VC デスクによる相談対応

内　容	ビジネスアイデアや資金調達などスタートアップとして創業や事業を実施する上での課題について、首都圏及び京都のVC 担当者が対応 対象者：京都で創業を目指している者及びプレシード・シード期のスタートアップ 場所：京都経済センター会議室及びKOIN
実施日 参加者	VC 壁打ち：毎月最終金曜日の午後に実施

実施日	対応VC	参加者数
4/28	ジャフコ	4 名
5/26	Partners Fund	5 名
6/23	ジェネシアベンチャーズ	3名
7/28	オプティマ・ベンチャーズ	3 名
8/25	ニッセイ・キャピタル	5 名
9/29	mint	4 名
10/27	マネックスベンチャーズ	5 名
11/24	MTG Ventures	5 名
12/22	K4 Ventures	4 名
1/26	THE SEED	5 名
2/21	ANOBAKA	4 名
3/15	Gazelle Capital	3 名
合計		50 名

VC デスク：毎月第1, 第2金曜日の午後に開催

実施日	対応VC	参加者数
4/14	京信ソーシャルキャピタル	2 名
5/12	京銀リースキャピタル	2 名
6/2	栖峰投資ワークス	2 名
6/9	フューチャーベンチャーキャピタル	2 名
7/7	中信ベンチャーキャピタル	2 名
8/23	京銀リースキャピタル	1 名
9/1	京信ソーシャルキャピタル	1 名
10/13	フューチャーベンチャーキャピタル	1 名
11/17	中信ベンチャーキャピタル	2 名
12/20	フューチャーベンチャーキャピタル	0 名
1/24	栖峰投資ワークス	0 名
2/29	フューチャーベンチャーキャピタル	0 名
3/29	栖峰投資ワークス	0 名
合計		15 名

主な相談内容	・ビジネスモデルの作り方について ・VC としての投資方針の確認 ・顧客の明確化へのアドバイス ・シリーズAの調達時期について ・ピッチへのフィードバック ・大企業との協業の方法や進め方について　等

■弁護士、公認会計士による専門家相談

<table>
<tr><td>内　容</td><td>スタートアップ特有の課題に対し、スタートアップ支援に実績のある弁護士及び公認会計士が相談に対応
対象者：京都で創業を目指している者及びプレシード・シード期のスタートアップ
場所：京都経済センター会議室</td></tr>
<tr><td>共催（協力）</td><td>弁護士：TMI法律総合事務所京都事務所　公認会計士：北條公認会計士・税理士事務所</td></tr>
<tr><td>実施日
参加者</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">弁護士への相談</td><td colspan="2">公認会計士への相談</td></tr>
<tr><td>相談日</td><td>相談者数</td><td>相談日</td><td>相談者数</td></tr>
<tr><td>5/1</td><td>1名</td><td>10/4</td><td>1名</td></tr>
<tr><td>6/30</td><td>1名</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>9/11</td><td>1名</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>9/28</td><td>1名</td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>主な
相談内容</td><td>弁護士　　：海外投資家との秘密保持契約の条項等の確認
国内法に抵触していないこと、それを証する弁護士レターについて
ライセンス取得について
公認会計士：創業期の会計処理及び税務に関して</td></tr>
</table>

■先輩起業家相談

<table>
<tr><td>内　容</td><td>起業前後の経営者の悩みについて、先輩起業家にアドバイスを得られる機会を提供するために、KOINに先輩起業家相談窓口を設置
・先輩起業家①：山田　大典　氏（株式会社 Michele Holdings　代表取締役）
・先輩起業家②：野村　泰暉　氏（株式会社みらいスタジオ　スタジオディレクター）</td></tr>
<tr><td>実施日
参加者</td><td>
<table>
<tr><td colspan="2">①山田氏</td><td colspan="2">②野村氏</td></tr>
<tr><td>相談日</td><td>相談者数</td><td>相談日</td><td>相談者数</td></tr>
<tr><td>4/17</td><td>4 名</td><td>9/21</td><td>1名</td></tr>
<tr><td>5/22</td><td>3 名</td><td>10/30</td><td>1名</td></tr>
<tr><td>6/19</td><td>4 名</td><td>11/16</td><td>1名</td></tr>
<tr><td>7/24</td><td>4 名</td><td>12/26</td><td>1名</td></tr>
<tr><td>8/21</td><td>2 名</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>9/19</td><td>2 名</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>10/6</td><td>2 名</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>1/26</td><td>3 名</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>合計</td><td>24 名</td><td></td><td>4名</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>相談内容</td><td>・ビジネスモデルの相談
・学生起業についてのアドバイス
・共同創業者とのコミュニケーションの取り方について　等</td></tr>
</table>

■【U25 学生限定】共闘 Startup Community MEET UP

内　容	起業に興味のある学生にスタートアップに関連するイベントを提供し起業を促すとともに、 京都で起業に関心のある関係人口を増やし、学生のコミュニティを形成する。
主催等	主催：共闘 Startup Community 共催：京都知恵産業想像の森 運営事務局：栖峰投資ワークス
実施日 参加者	

実施日	参加数	内容
4/22	22 名	大学生起業家、スタートアップインターン生によるトークセッション
5/13	6 名	学業とビジネスの両立などに関するトークセッション
6/3	23 名	IVS の楽しみ方を伝えるトークセッション
7/8	10 名	スタートアップでのインターンのリアルを伝えるトークセッション
9/2	7 名	スタートアップの資金調達方法について
10/9	9 名	SNS 発信について（ワークショップ）
11/19	2 名	自己 PR についてのトークセッション
12/16	2 名	プロジェクト運営について（ワークショップ）
2/22	18 名	交流会
3/29	16 名	学生大交流会
合計	115 名	

■メディア壁打ち

内　容	スタートアップの効果的な情報発信を促すため、メディア関係者（新聞社の記者など）とスタートアップとの面談の機会を提供し、メディア目線で事業へのフィードバックを提供し、スタートアップの発信力強化をサポートする。
実施日・内容	日　時：令和6年 3 月 14 日（木）14:00～16:05 場　所：京都経済センター　会議室 対　象：関西圏のプレシード・シード期スタートアップ企業 内　容：ピッチ、模擬取材対応のブラッシュアップ、メディアへの質疑応答 参加メディア：　株式会社毎日放送、読売新聞大阪本社、時事通信社 参加者：3社
参　考	＜アンケートより＞ ・PR とは何か、そして何をすべきかをすごく理解できました。また最前線で活躍される方からのフィードバックはすごく貴重でした。 ・メディア毎にアプローチ法があると伺えて、非常に勉強になった。 ・PR の概念を伺う事が出来て、勉強になった。

■大学発スタートアップ創造ラボ～

<table>
<tr><td>内　容</td><td>大学発スタートアップ創出を図るため、研究成果をもとに起業・事業化を目指す、または関心のある大学研究者、学生を対象に、既に大学発スタートアップを立ち上げた先輩研究者や金融機関、ベンチャーキャピタルとつながるコミュニティ構築のためのプログラム。</td></tr>
<tr><td>共催（協力）</td><td>京阪神スタートアップアカデミア・コアリション（略称、 KSAC）
京大オリジナル（株）</td></tr>
<tr><td>実施日・内容</td><td>対象者：大学研究者、大学発スタートアップ
金融機関、VC、大学で研究シーズの事業化支援や産学連携に携わっている方
<table>
<tr><th>実施日</th><th>内容</th><th>参加者数</th></tr>
<tr><td>12/18</td><td>「大学研究者が語る起業までのストーリー vol.1」
講師:①若宮　淳志　氏
（株）エネコートテクノロジー　共同設立者/取締役/最高科学責任者
②篠原　真毅　氏
（株）Space Power Technologies 科学顧問</td><td>109 名
（会場 44 名
オンライン 65 名）</td></tr>
<tr><td>2/8</td><td>「大学研究者が語る起業までのストーリー vol.2」
講師：①南　一成　氏
（株）マイオリッジ　取締役 CTO）
②谷　亮太朗　氏
（株）Eudaimonix 代表取締役</td><td>72 名
（オンライン）</td></tr>
<tr><td>3/18</td><td>「大学研究者が語る起業までのストーリー vol.3」
講師：　①植田　充美　氏
（株）Barcodebody COO）
②瀧　宏文　氏
（株）マリ　代表取締役社長</td><td>87 名
（会場 39 名
オンライン 48 名）</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>参　考</td><td>※ファシリテーター（各回共通）
京都市ソーシャルイノベーション研究所（SILK）
イノベーション・コーディネーター　井上　良子　氏

※vol.1 及び3はネットワーキング交流会も実施
 </td></tr>
</table>

■ IT エンジニア交流会 in KYOTO

<table>
<tr><td>内　容</td><td>エンジニア同士ネットワーク構築を促すとともに、KOIN 及び SU 支援の取り組みについて PR し、起業創出につなげるための交流会。</td></tr>
<tr><td>実施日・内容</td><td>日　時：第 1 回目　11/13　第 2 回目 3/22　各日 18:30-20:30
対　象：IT 系エンジニア（ハード・組込み・PM・社内 SE 含む）
内　容：Lightning Talk 会（登壇者 3 名。発表 5 分・質問 5 分）、交流会</td></tr>
<tr><td>参加者</td><td>参加者数　：　第 1 回目　31名　第2回目　27名
 </td></tr>
</table>

■京都イノベーション・サマープログラム

<table>
<tr><td>内　容</td><td>高校生が、フィールドワークやインタビューを通して、イノベーションを創る楽しさや魅力を体験することにより、起業家マインドを醸成し、将来的な起業を促すプログラム。</td></tr>
<tr><td>共催（協力）</td><td>京阪神スタートアップアカデミア・コアリション（略称、 KSAC）</td></tr>
<tr><td>実施日・内容</td><td>
<table>
<tr><th>実施日</th><th>内　容</th><th>場　所</th></tr>
<tr><td>7/28</td><td>オリエンテーション、チームビルディング
東映京都撮影所見学、インタビュー、グループワーク</td><td>東映太秦映画村</td></tr>
<tr><td>7/29</td><td>インタビュー、太秦映画村のロケ地見学、グループワーク
ワークショップ、中間発表</td><td>東映太秦映画村</td></tr>
<tr><td>8/4</td><td>発表準備、発表、交流会</td><td>KOIN</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>参加者</td><td>参加者：11 名（学年： 1年生3人、2年生4人、3年生4人）
 </td></tr>
</table>

■小中学生向けものづくり体験プログラム

<table>
<tr><td>内　容</td><td>小中学生が、ものづくりの体験を通じて、新しいものを創る楽しさや魅力を体験し、将来的な起業を促すプログラム。</td></tr>
<tr><td>共催（協力）</td><td>京阪神スタートアップアカデミア・コアリション（略称、 KSAC）
（株）Monozukuri Venturers Holdings</td></tr>
<tr><td>実施日・内容</td><td>「こどもと学ぶデジタルツール　ビー玉ころがしをつくろう～ものづくりをかんたんにする最先端機器と起業家教育」
講演：「夢の大きさが世界を変える」株式会社 Monozukuri Ventures 牧野成将
「世界の 10 億人にインパクトを与える」 Singularity University Kyoto メンバー
体験：
<table>
<tr><th>実施日</th><th>内　容</th><th>参加者数</th></tr>
<tr><td>11/25</td><td>【小学生対象】
レーザーカッターでビー玉ころがしをつくろう</td><td>5 名</td></tr>
<tr><td>12/10</td><td>【中学生対象】
3D プリンターでビー玉ころがしをつくろう</td><td>4名</td></tr>
</table>
場所：Kyoto Makers Garage</td></tr>
</table>

■ロボット制作サポートプログラム

<table>
<tr><td>内　容</td><td>普通科に通う高校生を対象に、最先端技術であるロボットに触れる機会を、「ロボットキット」という形で提供し、参加した高校生に、技術を活用して新たなことにチャレンジする楽しさや難しさを伝えるとともに、ロボットベンチャー創業者の講演から、ロボットの未来やアントレプレナーシップの重要性を伝えることにより、アントレプレナーシップ醸成を図るプログラム。</td></tr>
<tr><td>共催(協力)</td><td>京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(略称、 KSAC)</td></tr>
<tr><td>実施日・内容</td><td>実施期間:令和 5 年 12 月 25 日(月)～3 月 10 日(日)
<table>
<tr><th>実施日</th><th>内　容</th><th>場　所</th></tr>
<tr><td>12/25</td><td>オリエンテーション、参加校の顔合わせ、ロボットキット及び製作マニュアルの共有</td><td>オンライン</td></tr>
<tr><td>1 月～
2 月</td><td>ロボット製作
・オンライン上で、製作上の質問などを随時受付(Google Classroom を活用)
・メンター派遣(現役のエンジニアを各校に派遣し、疑問点の解消やエンジニアの魅力を伝える)</td><td>各高等学校</td></tr>
<tr><td>3/10</td><td>各校の取り組み発表
起業家の講演
(株)Tninker　取締役(共同創業者)　小山　佳祐　氏</td><td>KRP たまり場</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>参加者</td><td>参加者:27 名
(府立亀岡高校　6名、市立西京高校　5名、東山高校　6名、京都橘中学高等学校　10名)
 </td></tr>
</table>

■ロボット操縦体験イベント

<table>
<tr><td>内　容</td><td>大型ショッピングモールのイベントスペースにて、高校生以下の幅広い世代を対象としたロボット操縦体験会実施を通じ、アントレプレナーシップ醸成を図るためのイベント。</td></tr>
<tr><td>共催(協力)</td><td>京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(略称、 KSAC)</td></tr>
<tr><td>実施日・内容</td><td>実施日:令和 6 年 2 月 4 日(日)10:00-18:00
場　所:イオンモール桂川　月の広場
内　容:
コントローラーを操りながら、ロボットの前後左右への操縦や柔らかい素材のフリスビーを発射し、的(ペットボトル)に当てる体験会を実施。
・操縦のサポートとして、現役のエンジニア3名を配置
・ロボットの操縦説明だけでなく、これからの社会においてロボットが担う重要性も説明
・中学生でエンジニア選手権に出場する生徒の取材動画を流すことで、エンジニアの魅力等を同年代向けに発信</td></tr>
<tr><td>参加者</td><td>参加者:168名
 </td></tr>
</table>

■教職員向けアントレプレナーシップセミナー

内　容	高校や高専の教職員を対象に、アントレプレナーシップ教育の基礎研修を実施して知識を深めるとともに、教職員同士のネットワーク構築を通じ、持続的にアントレプレナーシップ教育を提供する体制を構築するためのイベント。
共催（協力）	京阪神スタートアップアカデミア・コアリション（略称、KSAC）
実施日・内容	実施日：令和６年1月21日（日）13:00-17:00 場　所：京都経済センター3階　KOIN タイトル：教職員対象セミナー　何から取り組む？高校生向けアントレプレナーシップ教育 ～「総合的な探求の時間」などを活用し、新たな事業創造に挑戦する若者を育てる授業をやってみませんか？～ 内　容： １ 導入講義「アントレプレナーシップの基礎」 ２ ミニワークショップ「新しい価値創造！？」 ３ 活動計画立案「事業で実践しよう！」の作成と発表 講　師：NPO 法人アントレプレナーシップ開発センター　理事長　原田　紀久子　氏
参加者	参加者：11 名

■教職員向けセミナー

内　容	高校教員等を対象に、授業でアントレプレナーシップを育むことの社会的必要性とその実装のためのワークショップイベント。社会課題に真正面から取り組み、アントレプレナーシップで解決に挑み、仲間、金融機関等を巻き込みながら社会にインパクトを与えている起業家とともに、教育に求められるアントレプレナーシップを考えるワークショップを開催。
共催（協力）	京阪神スタートアップアカデミア・コアリション（略称、KSAC）
実施日・内容	実施日：令和６年２月26 日（日）18:00-20:30 場　所：京都経済センター3階　KOIN タイトル：総合・探求学習、社会科の先生必見！　教職員向けセミナー　高校生×アントレプレナーシップ　これからの「探求学習」～課題探求力・発想力・巻き込む力・突破力」は起業家から学ぶ！予測不能な VUCA 時代。求められるのはアントレプレナーシップ！～ 内　容： １ トークセッション「課題探求力、突破力、起業家はどのようにして身に着ける？」 金谷　智　氏（株式会社 LXDESIGN　代表取締役） 中馬　一登　氏（株式会社 MIYACO　代表取締役） 仲田　匡志　氏（株式会社 SOU　代表取締役） ２ ワークショップ「起業家とともに考えるこれからの社会で活躍するために必要な視点」 ３ 交流会
参加者	参加者：15 名（小学校：3名、中学校：3名、高校6名、大学3名）

■アントレプレナーシップセミナー

内　容	起業や新規事業に関心のある学生・生徒を対象に、アントレプレナーシップについて学ぶとともに、学生起業家が起業を志した際の生の声聞くことにより、アントレプレナーシップ醸成を図るセミナー。
共催(協力)	京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(略称、KSAC) (協力) ㈱カタルシス、㈱Relic
実施日・内容	実施日:令和 6 年3月 20 日(水)13:00-16:15 場　所:イオンモール桂川　月の広場 内　容: 第 1 部　学生起業家によるトークセッション　「なぜ起業という道を選んだ？」 山中　裕貴　氏(㈱DAIJOBU　代表取締役／京都大学総合人間学部　3 回生) 鈴木　粋　氏(㈱モクジヤ　代表取締役／同志社大学経済学部　5 回生) 吉村　響　氏((同)GROWOS　代表社員／京都大学経済学部 2 回生) 進行:山本　周雅　氏(㈱カタルシス　代表取締役／京都大学総合人間学部 7 回生) 第 2 部　ワークショップ ※新規事業や事業開発/事業変革を担う人材の発掘や育成を普及・促進するボードゲームを通じて、アントレプレナーシップを体感するワークショップを実施
参加者	参加者:11 名

■Kyoto Innovation　Base

内　容	先輩起業家が起業家を生み育てる環境を京都で実現するためのプログラム 対象者:成長意欲がある京都府内の若手ベンチャー経営者 場所:京都経済センター会議室 内容:先輩ベンチャー経営者による若手ベンチャー経営者へのメンタリング、若手ベンチャー経営者同士のコミュニティ形成
共催(協力)	EO Kyoto、京都商工会議所、株式会社京都銀行
実施日	第 2 期

実施日	講師:先輩起業家
4/13	(株)イノベーション　代表取締役社長　富田　直人　氏
5/11	プロパティエージェント(株)　代表取締役社長　中西　聖　氏
6/8	(株)メディカルネット　代表取締役グループ CEO　平川　大　氏
7/13	(株)フレアス　代表取締役社長 CEO　澤登　拓　氏
8/10	アジアクエスト(株)　代表取締役社長　桃井　純　氏

第 3 期

実施日	講師:先輩起業家
9/14	オリエンテーション
10/12	(株)ブイキューブ　代表取締役会長 Founder & グループ CEO　間下 直晃　氏
11/9	(株)スタメン　ファウンダー　加藤　厚史　氏
12/14	(株)チェンジホールディングス　ファウンダー　福留　大士　氏
1/18	ソウルドアウト(株)　創業者　荻原　猛　氏
2/8	(株)Fusic　社長　納富　貞嘉　氏
3/14	(株)ファインドスターグループ　会長　内藤 真一郎　氏

参加者	第 2 期　20 名、第 3 期　17 名(各期　固定メンバー)

■女性経営者コミュニティの形成「サロン・ド こまち」

内 容	起業した女性や起業を目指す女性を対象に、経営者の課題や悩み及び成功体験などについて、同様の課題を持つ女性経営者間で共有することで、お互いが成長できるコミュニティを形成
共催(協力)	京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(略称、 KSAC) (協力)京都府、日本政策金融公庫
実施日	日時:6月 23 日(金)18:30～20:30 内容: ・パネルディスカッション <パネラー> (株)TAJIRO 工房 代表取締役 三好 亜海 氏 (株)SUSTAINABLEME 代表取締役 後藤 友美 氏 結税理士法人 代表社員 伊藤 弥生 氏 ・ネットワーキング(講師、参加者、支援機関)
参加者	15 名(その他支援機関より 14 名出席)

② スタートアップの成長ステージに即した支援

成長ステージにおける課題解決に繋がるプログラム、資金調達や協業を目的とするピッチ等を開催するとともに、グローバル展開を目指すスタートアップと海外投資家・事業会社・政府機関等とのネットワーク構築を支援した。

■京都発 Deep Tech Startup プログラム D-Break（Growth Kyoto）

<table>
<tr><td>内　容</td><td>京都から、地球・人類の社会課題解決に挑戦する Deep Tech スタートアップの創出・成長を目的に、Deep Tech スタートアップに特化した資金調達戦略、知的財産戦略、開発ロードマップ構築、海外戦略に関するセミナーと、個別メンタリングの場を提供するプログラム。</td></tr>
<tr><td>共催・協力</td><td>（共催）リアルテックホールディングス株式会社
（協力）KOBASHI ROBOTICS（株）、（株）リバネス</td></tr>
<tr><td>実施日・内容</td><td>対象者：・ディープテックスタートアップ
・大学研究者で起業、事業化を目指す方
・ベンチャーキャピタル、金融機関、CVC を持つ事業会社
・大学で産学連携、事業化支援を担当する方
<table>
<tr><th>実施日</th><th>内容</th><th>講師</th></tr>
<tr><td>1/26</td><td>・ディープテックに求められる事業戦略と逆引きのファイナンス戦略</td><td>・上島 哲 氏（リアルテックホールディングス（株）執行役員 バリューアップ統括）</td></tr>
<tr><td>2/8</td><td>・東南アジア進出戦略</td><td>・武田 隆太 氏（（株）リバネス 国家政策研究センター センター長）</td></tr>
<tr><td>2/16</td><td>・クリエイティブデザインを活用した価値の最大化
・顧客価値と技術をクロスさせたロードマップ作製</td><td>・青島 俊徳 氏
（（株）アットビジョン 代表取締役）
・手塚 裕亮 氏
（KOBASHI ROBOTICS（株） COO）</td></tr>
<tr><td>3/1</td><td>・知財戦略の立案（ポイントを押さえた知財戦略と実行）
・開発ステップの設定と体制の実例</td><td>・丸山 真幸 氏（内田鮫島法律事務所）
・手塚 裕亮 氏
（KOBASHI ROBOTICS（株） COO）</td></tr>
<tr><td>3/15</td><td>・知財戦略の運用（よくある躓きと対処）
・クリエイティブ戦略の実例</td><td>・丸山 真幸 氏（内田鮫島法律事務所）
・青島 俊徳 氏
（（株）アットビジョン 代表取締役）</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>参加者</td><td>参加者数：各日 15～20 名</td></tr>
</table>

■スタートアップ・アライアンス・リンク

<table>
<tr><td>内 容</td><td>首都圏を主とする大企業や投資家等に対して、京阪神のスタートアップとのマッチングの機会を創出（オンライン開催）</td></tr>
<tr><td>共催（協力）</td><td>京都府、イシン株式会社</td></tr>
<tr><td>実施日</td><td>①8 月 1 日（火） 分野：AI
登壇スタートアップ 7 社
（RUTILEA、HACARUS、京都テキストラボ、Flora、Baseconnect、ハタプロ、テラバース）
②1月31日（火） 分野：ヘルステック
登壇スタートアップ 7社
（ナールスコーポレーション、ソラリスバイオ、レナートサイエンス、エニシア、ジョイ・クル、京ダイアグノスティクス、マリ）</td></tr>
<tr><td>参加者</td><td>①8 月 1 日 参加者数 182人（マッチング要望数 82 件、マッチング件数 40 件）
②1 月 31 日 参加者数 163 人（マッチング要望数 77 件、マッチング件数 36 件）</td></tr>
</table>

■スタートアップの資金調達勉強会兼交流会

内　容	①シードまたは②シリーズAの資金調達を目指す起業家や学生向けの勉強会及び交流会
実施日・内容	①シード調達向け勉強会 開催日 8 月 24 日(木) 内　容:講演「シード資金調達の基本」 講師:ANOBAKA 松永　和彰　氏 ②シリーズ A 調達向け勉強会 開催日:7 月 13 日(木) 内容:講演「シリーズ A を成功に導く KPI やプロダクトづくり」第 2 回　3月 28 日(火) 講　師:WiL　パートナー　難波　俊充　氏 ※各回交流会も併せて実施
参加者	①6 名、 ②7 名

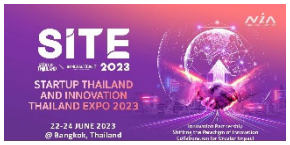
■IPO 経営人材育成プログラム KYOTO

内　容	京都のスタートアップエコシステムの更なる発展を目的に、IPO を目指す企業の経営者層を対象とした人材育成プログラムを提供
共催(協力)	(株)東京証券取引所 (株)日本取引所グループ
実施日・内容	1 月 25 日(木)18:30～20:30 対象者:IPO に関心がある企業経営者 IPO / スタートアップ支援者 内容: ・「最近の IPO 動向について」 株式会社東京証券取引所　上場推進部　課長　岡野　豊　氏 ・基調講演「上場体験談」 株式会社eWeLL代表取締役社長　中野　剛人　氏 ・パネルディスカッション「上場のリアル」 (モデレーター)株式会社東京証券取引所　上場推進部　課長　田村　満　氏 ・IPO 経営人材育成プログラム KYOTO のご案内 ・交流/名刺交換
参加者	参加者 32 名

■IVS KYOTO2023

内　容	IVS KYOTO 実行委員会 （Headline JAPAN、京都府、京都市、知恵森）による、IVS KYOTO 2023 開催支援 日　時：6/28～6/30 場　所：京都市勧業館「みやこめっせ」 内　容： ・府・市等と連携の上、ステージセッションを実施するとともに、京都のエコシステム情報発信のためのブースを設置 ・京都のスタートアッププロダクト展示 ・京阪神ブース：神戸市、OIH 等と連携の上、京阪神エコシステムの情報発信 IVS サイドイベント「International Student × Entrepreneurs Meetup」実施 日　時：6/29 場　所：KRP GOKONC 内　容： ・京都のスタートアップエコシステムの強みの一つである留学生に対し、IVS への参加を促すとともに、かつて留学生であった先輩起業家と出会えるイベントを実施し、京都での起業を後押しする。

■海外展示会への参加

内　容	①SITE2023（タイ） 出展　6/22～6/23 京都のスタートアップ2社（リージョナルフィッシュ、オーシャンアイズ）とともに出展し、京都のエコシステムを PR するとともに、スタートアップ2社がピッチに登壇  ②SWITCH（シンガポール）にて京都のエコシステム PR　10/31～11/2 京都のエコシステムを PR するとともに、シンガポール科学技術研究庁（ASTAR）、NUS（シンガポール国立大学）、シンガポールの VC、Startup Island TAIWAN、マレーシア、カナダ政府機関等と面談
参　考	①本展示会出展を契機に、タイと京都のエコシステムを結ぶオンラインイベントを実施 「Link Startup Ecosystem -Kyoto × Bangkok-」（3/5） 内容：・True Digital Park（タイ）の支援プログラムと活動について説明 ・京都の SU によるピッチ ②本イベントで面談したシンガポールのフードテックに特化したアクセラレーター（GROW）が来日、12/1 KRP にてイベントを実施し、京都の支援機関等とのネットワークを構築

■海外投資家・事業会社・政府機関等と京都のスタートアップ・支援機関ネットワーキングイベントの開催

・シンガポール経営大学院とのネットワーキング(5/11)
・台湾エンジェル投資家とのネットワーキング(5/26)
・ナイジェリア政府イノベーション機関連携イベント
　Kyoto – Africa Startup Ecosystem Meetup― (7/4)
・インドの起業家、経営者とのネットワーキング(7/10)
・German Accelerator Networking Event(12/1)
・Austrian Startup Pitch Night in Kyoto(12/8)
・Explore Africa Startup Ecosystem in Kyoto(2/6)
・Link Startup Ecosystem -Kyoto×Bangkok-(3/5)
・SHOWCASE AFRICA2024 in Kyoto(3/21)

③ スタートアップに関する情報を発信

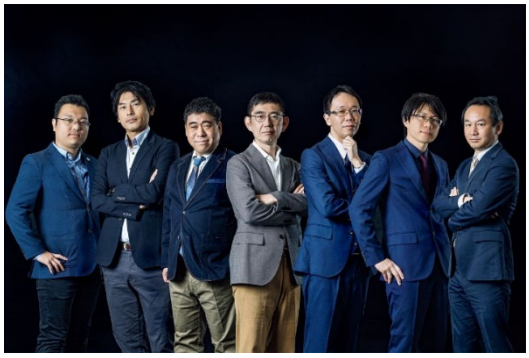
様々な媒体を活用し、京都のスタートアップ及びエコシステムの魅力を国内外に発信した。

■経済誌「Forbes」と連携したPR

Forbesとのタイアップにより、首都圏の事業会社や投資家等に対して、大学発スタートアップの創出に関する取り組みをPR　Forbes 冊子誌面及びWEB記事への掲載

Forbes JAPAN 2024 年4月号

関西圏の大学発スタートアップをグローバルの舞台へ



「大学発シーズの事業化で日本の未来を切り開く「関西スタートアップアカデミア・コアリション(KSAC)」
https://forbesjapan.com/articles/detail/69303
「関西圏の大学発スタートアップをグローバルの舞台へ」
https://forbesjapan.com/articles/detail/69301

⑵ 京都スタートアップ・エコシステム推進協議会の運営

京都のスタートアップ・エコシステムの現状共有及び個別課題の協議を実施した。

■京都スタートアップ・エコシステム推進協議会への新たな参画団体

新規参画団体	京都産業大学、ノートルダム女子大学、三井住友銀行、みずほ銀行、(株)けいはんな ※ 総計 44 組織

■京都スタートアップ・エコシステム推進協議会の開催

日 程	出席団体	議 題
令和 5 年 10 月 25 日 実施	京都商工会議所、一般社団法人京都経済同友会、京都府商工会連合会、京都府中小企業技術センター、公益財団法人京都産業21、地方独立行政法人京都市産業技術研究所、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構、株式会社国際電気通信基礎技術研究所(ATR)、独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)京都貿易情報センター、独立行政法人中小企業基盤整備機構、国立研究開発法人理化学研究所、京都リサーチパーク株式会社、フューチャーベンチャーキャピタル株式会社、株式会社 Monozukuri Ventures、Plug and Play Japan 株式会社、株式会社フェニクシー、国立大学法人京都工芸繊維大学、京都府公立大学法人京都府立大学、同志社大学、学校法人立命館、龍谷大学、京都産業大学、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学、京都信用保証協会、株式会社京都銀行、京都中央信用金庫、京都信用金庫、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社三井住友銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社日本政策金融公庫、近畿経済産業局、京都府、京都市、一般社団法人京都知恵産業創造の森	報告事項 ・2022 年度及び 2023 年度上半期の取組、KPI 達成状況 ・京都のスタートアップ・エコシステムの現状 意見交換 ・スタートアップの創出、アントレプレナーシップの醸成について ・スタートアップの海外展開支援について

■京都スタートアップアンケートの実施

府内のスタートアップに対して、アンケートを実施

実施方法 郵送依頼、オンライン回答

依頼企業数 542 社、回答企業 62 社 (回答率 12.2%)

⑶ 京阪神スタートアップ・エコシステムの連携

内閣府及び文部科学省の支援プログラムを活用する中で、京阪神スタートアップ・エコシステムの連携を強化した。

■スタートアップ・エコシステム拠点強化支援プログラム

内 容	京阪神が有する強みを伸ばし、グローバルハブとしての発展を目指すため、次の事業を実施。 ◆京阪神スタートアップエコシステムのデータベース作成 データベース作成会社と連携し、京阪神に所在するスタートアップの企業情報をデータベース化し、主に海外の投資家や事業会社向けに情報発信を図った。 ◆海外投資家の京阪神への招聘 海外から、アーリーステージのディープテックに投資する主要な VC、CVC を京阪神に招へいし、国内外に向けた京阪神ブランドの発信及び京阪神エコシステム関係者と招へい者とのネットワーク構築を図った。 招へい VC 8 社 日程:1 月 15 日(月)～19 日(金) 1/15 @QUINTBRIDGE(大阪市) キックオフプレゼンテーション インキュベーション施設見学、パネルディスカッション 1/16 @ポートアイランド、ANCHOR KOBE(神戸市) 神戸医療産業都市、クリエイティブラボ神戸、理研、バイエル等視察 スタートアップ・ピッチ、ネットワーキング 1/17 @ATC、OIH 2025 年大阪・関西万博エリア視察 未来医療推進機構説明 スタートアップ・ビッチ、ネットワーキング 1/18 @けいはんな学研都市、クリエイションコア御車 視察:スプレッド、イーセップ ピッチ:イクスフォレストセラピーティクス他 1/19 @京都大学桂キャンパス・KOIN

■京阪神スタートアップアカデミア・コアリション(KSAC)

内 容	文部科学省の、研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム(START) 大学・エコシステム推進型「スタートアップ・エコシステム形成支援」を活用し、京阪神の大学が連携する中で、アカデミアを起点としたエコシステムを構築し、経済界、行政機関も連携し、継続した大学発スタートアップを創出する。
事業内容	(1)起業活動支援プログラムの運営 (2)アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営 (3)起業環境の整備 (4)拠点都市のエコシステムの形成・発展

■NEXT PIONEER 2023 Vol.03 挑戦する次代の研究者たち KSAC MATCHING DAY

<table>
<tr><td>内 容</td><td>令和 4 年度 KSAC 起業活動支援プログラムに採択された優れた京阪神の研究シーズと事業会社、VC とのマッチングを促進
対象者：令和 4 年度 KSAC 起業活動支援プログラム採択者のうち 10 名
場所：京都経済センター KOIN及び 3 階会議室
内容：研究シーズのプレゼンテーション及び個別マッチング</td></tr>
<tr><td>共催（協力）</td><td>公益財団法人大阪産業局、Forbes JAPAN／Forbes JAPAN SMALL GIANTS</td></tr>
<tr><td>実施日
登壇者</td><td>3 月 8 日（金） 13:00～18:00
<table>
<tr><th>参加研究者</th><th>研究テーマ</th></tr>
<tr><td>京都大学大学院工学研究科マイクロエンジニアリング専攻
准教授 廣谷 潤 氏</td><td>高精度熱計測技術を基盤とするサーマルマネジメント事業</td></tr>
<tr><td>大阪公立大学大学院
工学研究科 電子物理系専攻
電子物理工学分野
准教授 吉村 武 氏</td><td>IoT 端末向けユビキタス電源技術</td></tr>
<tr><td>関西学院大学 理工学部
人間システム工学科
教授 中後 大輔 氏</td><td>坂道でも平地のように車椅子を漕ぐことができるサーボブレーキ付き車輪ユニットの開発</td></tr>
<tr><td>関西大学 環境都市工学部
准教授 荒木 貞夫 氏</td><td>分子サイズで分離を可能とする高耐久性無機中空糸分離膜</td></tr>
<tr><td>立命館大学 理工学部
電子情報工学科
准教授 孟 林 氏</td><td>画像処理 AI モデルの自動構築とその運用</td></tr>
<tr><td>兵庫県立大学大学院
理学研究科
准教授 鈴木 雅登 氏</td><td>貴重で高機能な細胞1つを標識せずに細胞の回る速さから見つけ出す</td></tr>
<tr><td>京都大学大学院 医学研究科
教授 武藤 学 氏</td><td>アセトアルデヒド関連疾患予防による健康社会の構築</td></tr>
<tr><td>京都大学大学院 農学研究科
助教 宋和 慶盛 氏</td><td>Society5.0 の実現に向けたテーラーメードな導電性酵素の開発</td></tr>
<tr><td>大阪大学 大学院基礎工学研究科 博士後期課程
粉谷 聖 氏</td><td>柔らかな構造体の高精度造形を加納とする 3D バイオプリンタの開発</td></tr>
<tr><td>京都大学大学院 工学研究科
研究員 谷川 哲也 氏</td><td>バイオ医薬品分離・精製の高性能化を実現する新規スポンジ状分離在の最適化</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>参加者</td><td>参加者数：127 名（会場 45 名、オンライン 82 名）

 </td></tr>
</table>